就職・キャリア支援

自分の将来のことを考えたことはありますか?

大学受験を目指す皆さんにとって,「大学卒業後の進路」は,遠い未来の話でしょうか?
いいえ,それは違います。
あなた自身の将来は,入学した時から(もしかしたら入学前から?)真剣に考えるべきものなのです。
充実した4年間を過ごすのか,何となく目的なく過ごすのか…。
あなたの気持ち一つで,将来は大きく変わってきます。

1・2年生

キャリアガイダンス
自己啓発プログラム
インターンシップ

入学後1年間は,基礎固め。
進学,就職等将来を迷うのは当然。
とにかく,いろんなことにチャレンジし,
いろんなことを吸収しよう!

2年生　本格的な専門教育,研究活動がスタート!
自己啓発プログラムへも積極的に参加を!

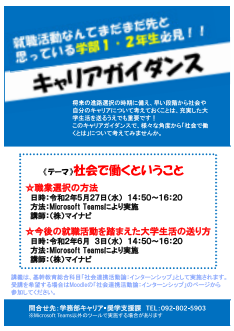
夏休み・春休みを利用してインターンシップに参加しよう!

3年生

自己啓発プログラム
インターンシップ
就職ガイダンス

4　月　就職ガイダンススタート!

1 STEP　キャリアガイダンス

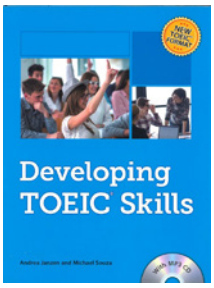


目的意識もなく,漫然と過ごしては時間のムダ!
でも,何をすればいいの?そんな時には…。
低学年向けキャリアガイダンスに参加してみよう!

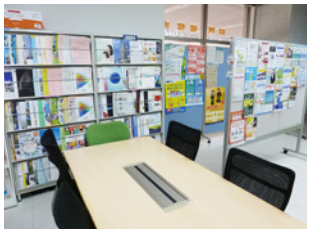
【テーマ】
●人生設計について広く考える
●将来につながる学生生活の過ごし方を考える
●就職か進学か?進路を考える

2 STEP　自己啓発プログラム

もうちょっと,「具体的」な対策は?
そう,そんな時にはこれ!
英語能力のスキルアップを目指そう!
●英語コミュニケーション能力養成プログラム
　~TOEIC対策プログラム~



就職情報室を活用しよう!
伊都地区(イーストゾーン及びウエストゾーン)には就職情報室があります(37-38ページ伊都地区イーストゾーン㊽、ウエストゾーン㉙)。就職ガイドブック等就職活動に役立つ情報を入手できます。



就職ガイダンス(企業・公務員),
就職セミナー(模擬面接・グループディスカッション・企業説明会)等
「基礎」から「実践的」な就職支援プログラム

4年生
就職活動最終章
就職セミナー
大学院入試受験

卒業

3年生後学期からは,本格的な就職活動準備がスタート!
「学生時代に頑張ったこと」は必ず聞かれる質問。
自分の将来に向かってしっかりとした対策を!

就職活動最終章。内定獲得は?
公務員試験,大学院入試も大詰め!

進路決定!

3 STEP

インターンシップ

学生	インターンシップ	就職
将来を考える	社会を体験	社会人へ

未来への通過点

インターンシップで,就業体験をしてみよう!
在学中に実社会に触れることは,
自分の適性や将来設計について考える良いきっかけとなります。
何事もまずは経験!チャレンジ精神を大切に!

就職ガイダンス・プログラム

【就職ガイダンス】
3年生では,実践的就職ガイダンスがスタート!
就活の心得〜最終局面まで,様々な講座を開催。
★エントリーシート,自己分析,先輩の活動体験等

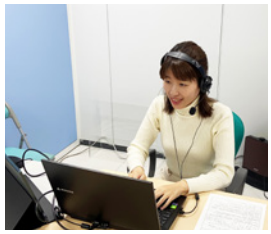
【その他のプログラム】
その他,皆さんの就職活動等に役立つ様々なプログラムに参加しよう!
●就職セミナー(模擬面接等)
●学内合同企業説明会,学内個別企業説明会,就職フェア(就職面談会)等

将来に悩んだときには?

1-3 STEP

就職相談を活用しよう!!

将来を真剣に考えれば考えるほど,「不安」を持つものです。
そんな時には,迷わず「就職相談」を利用しましょう。
経験豊かな進路・就職アドバイザーが,ズバリ!あなたの疑問にお答えします。
詳細は,本学Webサイトで案内しています。
ぜひ確認してみてください。
低学年の皆さんの相談も大歓迎!
(伊都・大橋・筑紫・病院キャンパス)
※オンラインでの相談も可



先輩達の「卒業後の進路」は,各学部の紹介ページに掲載しています。進路選択の参考にしましょう。

就職・進路に関することは学務部キャリア・奨学支援課へご相談ください。

伊都地区(センターゾーン)　センター1号館(2階)
TEL　092-802-5897
就職情報は全てWebサイトに掲載!!
http://www.kyushu-u.ac.jp/ja/education/employment/
→教育・学生支援→キャリア・就職支援

就職状況一覧

令和元年度 学部卒業者の進路状況

（令和２年５月１日現在）

学　部	①卒業者数 ②+④+⑤	②大学院（修士・博士前期課程）進学者数	③就職希望者数	④就職決定者数	⑤進学・就職以外の者	④就職決定者　内訳				研修医
						企業等	教員	公務員	その他	
文学部	153 (93)	14 (5)	127 (83)	119 (76)	20 (12)	91 (62)	7 (1)	20 (12)	1 (1)	
教育学部	52 (32)	17 (12)	34 (20)	32 (19)	3 (1)	22 (14)		10 (5)		
法学部	200 (77)	28 (10)	131 (56)	128 (55)	44 (12)	72 (29)		56 (26)		
経済学部	245 (60)	13 (6)	191 (44)	179 (42)	53 (12)	156 (34)	2	19 (7)	2 (1)	
理学部	283 (60)	218 (46)	57 (14)	49 (12)	16 (2)	36 (7)	7 (2)	5 (3)	1	
医学部	248 (131)	44 (26)	200 (102)	196 (101)	8 (4)	192 (97)	1 (1)	3 (3)		108 (19)
歯学部	49 (20)		39 (18)	39 (18)	10 (2)	39 (18)				39 (18)
薬学部	72 (22)	42 (7)	25 (15)	25 (15)	5	23 (13)		2 (2)		
工学部	850 (84)	696 (53)	132 (26)	125 (25)	29 (6)	106 (21)		19 (4)		
芸術工学部	200 (81)	106 (32)	81 (43)	78 (42)	16 (7)	77 (42)		1		
農学部	241 (109)	165 (74)	69 (33)	66 (32)	10 (3)	52 (25)	1 (1)	12 (6)	1	
21 世紀プログラム	22 (15)	2 (1)	19 (14)	18 (14)	2	18 (14)				
計	2,615 (784)	1,345 (272)	1,105 (468)	1,054 (451)	216 (61)	884 (376)	18 (5)	147 (68)	5 (2)	147 (37)

※（　）は女子の内数

※「⑤進学・就職以外の者」は司法試験等国家試験準備，専門学校生，研究生等を含む
※「④就職決定者数（内訳）」の「企業等」は「研修医」を含み内数

令和元年度 修士課程修了者の進路状況

（令和２年５月１日現在）

学　府	①修了者数 ②+④+⑤	②大学院（博士後期課程）進学者数	③就職希望者数	④就職決定者数	⑤進学・就職以外の者	④就職決定者　内訳			
						企業等	教員	公務員	その他
人文科学府	42 (26)	12 (8)	22 (12)	20 (12)	10 (6)	10 (5)	3 (2)	4 (3)	3 (2)
地球社会統合科学府	45 (33)	13 (9)	29 (21)	21 (15)	11 (9)	17 (12)	1 (1)		3 (2)
人間環境学府	148 (63)	14 (4)	104 (43)	98 (39)	36 (20)	78 (26)	6 (5)	12 (7)	2 (1)
法学府	56 (34)	3 (1)	48 (30)	34 (21)	19 (12)	23 (15)		11 (6)	
法務学府	26 (5)				26 (5)				
経済学府	90 (33)	4 (3)	67 (20)	60 (16)	26 (14)	55 (14)		3	2 (2)
理学府	146 (19)	19 (2)	124 (16)	121 (16)	6 (1)	112 (15)	3 (1)	6	
数理学府	48 (4)	13 (1)	34 (3)	31 (2)	4 (1)	25 (1)	6 (1)		
システム生命科学府	44 (11)	2	38 (10)	38 (10)	4 (1)	35 (10)	1	2	
医学系学府	63 (32)	9 (6)	44 (22)	41 (20)	13 (6)	37 (18)	3 (2)	1	
薬学府	53 (12)	10 (2)	40 (10)	39 (9)	4 (1)	39 (9)			
工学府	500 (58)	42 (8)	445 (46)	439 (42)	19 (8)	431 (41)	1 (1)	7	
芸術工学府	147 (53)	9 (4)	124 (43)	109 (34)	29 (15)	104 (31)	3 (3)	2	
システム情報科学府	194 (15)	14 (1)	174 (13)	171 (12)	9 (2)	169 (11)	1	1 (1)	
総合理工学府	221 (23)	20 (5)	198 (17)	195 (15)	6 (3)	192 (15)		3	
生物資源環境科学府	228 (101)	25 (9)	197 (89)	190 (84)	13 (8)	173 (78)	2	15 (6)	
統合新領域学府	48 (21)	2	43 (18)	35 (10)	11 (11)	33 (9)	1 (1)	1	
計	2,099 (543)	211 (63)	1,731 (413)	1,642 (357)	246 (123)	1,533 (310)	31 (17)	68 (23)	10 (7)

※（　）は女子の内数
※専門職学位課程を含む

※「⑤進学・就職以外の者」は司法試験等国家試験準備，研究生，無給の訪問研究員等を含む

令和元年度 博士（後期）課程修了者及び単位取得退学者の就職状況

（令和２年５月１日現在）

学　府	①修了者・単位取得退学者数 ②+③	②就職決定者数	③就職以外の者	②就職決定者　内訳			
				企業等	教員	公務員	その他
人文科学府	10 (7)	6 (5)	4 (2)	1 (1)	5 (4)		
地球社会統合科学府							
比較社会文化学府	28 (18)	14 (9)	14 (9)	7 (4)	6 (4)		1 (1)
人間環境学府	28 (15)	20 (11)	8 (4)	11 (5)	9 (6)		
法学府	4 (1)	3 (1)	1	2	1 (1)		
経済学府	11 (3)	8 (2)	3 (1)	3	5 (2)		
理学府	25 (5)	21 (4)	4 (1)	20 (4)	1		
数理学府	8 (1)	5 (1)	3	3	2 (1)		
システム生命科学府	19 (6)	14 (3)	5 (3)	12 (2)	2 (1)		
医学系学府	143 (34)	103 (24)	40 (10)	92 (17)	10 (7)	1	
歯学府	29 (14)	26 (13)	3 (1)	23 (12)	2 (1)	1	
薬学府	13 (2)	9 (2)	4	8 (1)		1 (1)	
工学府	136 (22)	111 (17)	25 (5)	96 (12)	12 (4)	3 (1)	
芸術工学府	21 (5)	8 (2)	13 (3)	6	2 (2)		
システム情報科学府	32 (1)	24 (1)	8	22 (1)	2		
総合理工学府	47 (2)	33 (2)	14	26	6 (1)	1 (1)	
生物資源環境科学府	48 (11)	30 (6)	18 (5)	16 (1)	10 (3)	4 (2)	
統合新領域学府	13 (4)	5	8 (4)	4	1		
計	615 (151)	440 (103)	175 (48)	352 (60)	76 (37)	11 (5)	1 (1)

※（　）は女子の内数

※「③就職以外の者」は日本学術振興会の特別研究員，研究生，無給の訪問研究員等を含む

令和元年度 学部卒業者の主な就職先

学　部

学　部	種　別	主な就職先
文学部	民間企業等	福岡銀行，ニトリ，西日本シティ銀行，オービック，JTB，アクセンチュア，コニカミノルタ，サッポロビール，サントリー食品インターナショナル，トヨタ自動車九州，リクルート，応研，京セラ，九州博報堂，西日本新聞社，鳥越製粉，東京海上日動火災保険，東日本旅客鉄道，凸版印刷
	学校（教員含む）	福岡県教育委員会，旭進学園宮崎第一中学高等学校
	公務員	福岡県庁，長崎県庁，福岡財務支局，福岡市役所，熊本県庁，香川県庁，佐賀県庁，鹿児島県庁，春日市役所，太宰府市役所，大分県庁，福岡県警察，福岡労働局
教育学部	民間企業等	Fusic，RKKコンピューターサービス，クオン，コカ・コーラボトラーズジャパン，ジャフコ，ゼネラルパートナーズ，ニトリ，LIFULL，ネクステップ，パーソルプロセス＆テクノロジー，リンクアンドモチベーション，楽天カード，九州電力，西部ガス，大和証券，日本航空
	公務員	福岡県庁，佐賀県庁，九州厚生局，九州地方整備局，厚生労働省，糸島市役所，長崎県庁
法学部	民間企業等	福岡銀行，三井住友海上火災保険，九州電力，三井住友銀行，西日本シティ銀行，大和証券，麻生，明治安田生命保険，ＮＴＴドコモ，Qtnet，キリンホールディングス，ソフトバンクグループ，旭化成，三菱電機，住友電気工業，西日本旅客鉄道，川崎重工業，日本銀行，日立製作所
	公務員	福岡県庁，福岡地方裁判所，福岡市役所，鹿児島県庁，北九州市役所，厚生労働省，佐賀県庁，大分市役所，福岡国税局，福岡地方検察庁，福岡労働局，愛媛県庁，岡山県庁，九州運輸局，熊本県庁，国税庁，佐賀市役所，鹿児島市役所，大分県庁，長崎県庁，東京都庁
経済学部	民間企業等	三菱UFJ銀行，大和証券，明治安田生命保険，アビームコンサルティング，三井住友銀行，麻生，アサヒビール，オービック，ダイキン工業，富士通，りそな銀行，ワイジェイカード，九州電力，三井住友信託銀行，清水建設，西日本シティ銀行，西日本電信電話，東京海上日動火災保険，日本製鉄
	学校（教員含む）	九州大学，小倉総合特別支援学校
	公務員	九州経済産業局，九州地方整備局，熊本県庁，国税庁，糸島市役所，大分県庁，福岡高等裁判所，福岡労働局，文部科学省，防衛省，臼杵市役所
理学部	民間企業等	VSN，日本生命保険，富士通，TIS西日本，WDBエウレカ社，アウトソーシングテクノロジー，オービック，キヤノン，システムソフト，マイナビ，リウコム，ワールドインテック，山崎製パン，住友生命保険，商工組合中央金庫，昭和自動車，村田製作所，日本郵便，福岡銀行，麻生，野村総合研究所
	学校（教員含む）	安田女子中学高等学校，青雲中学校・高等学校，大牟田学園，明蓬館高校
	公務員	鹿児島県庁，気象庁，京都市上下水道局，九州経済産業局，福岡県庁，福岡県警察，陸上自衛隊
医学部（臨床研修医除く）	民間企業等	九州大学病院，福岡赤十字病院，飯塚病院，別府医療センター，済生会福岡総合病院，順天堂大学医学部附属順天堂医院，虎の門病院，東京医科歯科大学医学部附属病院，小倉医療センター，聖マリア病院，倉敷中央病院，東京大学医学部附属病院，大分県立病院，国府台病院，浜の町病院，福岡市立病院機構，八戸市立市民病院，松山赤十字病院，福岡市民病院，長崎医療センター，京都大学医学部附属病院
	公務員	岡山市役所，志免町役場，福岡県庁，福岡市役所，北九州市役所
薬学部	民間企業等	九州大学病院，岡山大学病院，慶應義塾大学病院，佐世保共済病院，名古屋第一赤十字病院，九州医療センター，大同病院，熊本医療センター，愛媛大学病院，鹿児島大学病院，東京大学医学部附属病院，千葉大学医学部附属病院，大阪大学歯学部附属病院，東京医科歯科大学附属病院
	公務員	山口県庁，福岡県庁
工学部	民間企業等	トヨタ自動車，パーソルキャリア，全日本空輸，スズキ，九州電力，日本製鉄，テクノプロ，前田建設工業，アルプス技研，三井住友銀行，京セラ，日揮，東日本旅客鉄道，東京海上日動火災保険，パナソニック，東京エレクトロン，東テク，ニトリ，西日本旅客鉄道，三菱UFJ銀行，三井物産
	公務員	国土交通省，福岡市役所，唐津市役所，大分市役所，大分県庁，福岡県庁，熊本県庁，環境省，九州地方整備局，林野庁，葛飾区役所
芸術工学部	民間企業等	ニトリ，大広，LIXIL，富士通九州システムズ，博展，日本放送協会，大日本印刷，野村総合研究所，積水ハウス，KDDI，西日本旅客鉄道，清水建設，ナフコ，住友商事，三井住友銀行，九州電力，キーエンス，みずほフィナンシャルグループ，ＮＴＴドコモ，フォスター電機，パナソニック
	公務員	板橋区役所
農学部	民間企業等	アクセンチュア，ダイキン工業，LIFULL，富士通，日立製作所，サントリーホールディングス，日本放送協会，クボタ，日本水産，エイジェック，日本ハム，トヨタ自動車九州，西日本鉄道，西日本シティ銀行，住友化学，キリンホールディングス，九州電力，LIXIL，奥村組，ワイジェイカード
	公務員	福岡県庁，福岡市役所，林野庁，徳島県庁，植物防疫所，山口県庁，警察庁
２１世紀プログラム課程	民間企業等	九州旅客鉄道，明治安田生命保険，TBSテレビ，トヨタ自動車九州，日本航空，長崎放送，マイナビ，ソフトバンクグループ，西日本電信電話，SBSロジコム，RKB毎日放送，JTB，FUNDBOOK，ロッテ，リクルート

※主な就職先：概ね２０社程度を掲載。

民間企業等，学校，公務員の区分は本学独自の方法。就職者がいない区分については未掲載。

令和元年度 修了生の主な就職先

修　士

学　部	種　別	主な就職先
人文科学府	民間企業等	商船三井，日企，ソウルドアウト，エイム，福岡アジア美術館，ブリヂストンソフトウェア，フロム･ソフトウェア，九州経済調査協会，日立ソリューションズ
	学校（教員含む）	九州大学，深州市教育局，筑陽学園
	公務員	大分市役所，参議院事務局
比較社会文化学府 地球社会統合科学府	民間企業等	ニトリ，ローソン，船井上海，オムロン，富士通，京セラコミュニケーションシステム，大広九州，テクノプロ，日本電気通信システム，アビームコンサルティング，エヌ・エフ・ティ，Media，ヤンマー情報システムサービス
	学校（教員含む）	長崎短期大学
人間環境学府	民間企業等	竹中工務店，大成建設，日建設計，清水建設，大林組，五洋建設，大建設計，森本病院，日能研九州，積水ハウス，都市再生機構，日本郵政，松田平田設計，梓設計，ベネッセコーポレーション，エス・エー・アイ構造設計，日経BP，日本製鉄，関西電力，久米設計，九州電力，戸田建設，YKK AP，日本工営，日本設計，乃村工藝社
	学校（教員含む）	上海市嘉定区第一高校，東筑紫学園東筑紫短期大学，広島県教育委員会
	公務員	福岡市役所, 佐賀県庁, 鹿児島県庁, 大阪家庭裁判所, 高知県庁, 長崎県庁, 国土交通省, 福岡地方裁判所, 北九州市役所, 山口県庁
法学府	民間企業等	ルネサスエレクトロニクス，ILS-INCONTROL，Law Office Jace，PwC コンサルティング合同会社，後藤労務管理事務所，シフトエナジージャパン，共同通信社，トヨタ自動車，山陰中央新報，日本年金機構，Castillo Laman Tan Pantaleon & San Jose，ベトナム国立銀行
	公務員	福岡県庁，ミャンマー投資・外交経済省，国際連合ウィーン事務局，ベトナム法務省，モンゴル経済省，アフガニスタン女性省，タイ検察事務局，法務省，ミャンマー人民検事総長事務局，タイ最高裁判所，モンゴル外務省国際法条約局，国家知的財産局，法務局，トルコ法務省，ネパール法務省
経済学府	民間企業等	タカギ，九州旅客鉄道，トライアルカンパニー，大和ハウス工業，日本アイ･ビー･エム･サービス，SMBC日興証券，麻生，エイムネクスト，武田薬品工業，応研，東京ガス，日本出版販売，paypal，九州電力，パナソニック，空研工業，西日本シティ銀行，筑邦銀行，日東電工，ふくおかフィナンシャル・グループ，マツダ，本田商事，野村證券
	学校（教員含む）	九州運輸局，直方市役所，福岡市役所
理学府	民間企業等	京セラ，東ソー，オービック，日立製作所，コスモエネルギーホールディングス，久光製薬，パナソニック，三井住友海上火災保険，ブリヂストン，日本製鉄，富士通，旭化成，マイクロンメモリジャパン，東海理化，日本航空，JFEケミカル，小林製薬，キオクシア，凸版印刷，キシヤ，三井化学，鹿島建設，クレハ，東芝三菱電機産業システム，JSR
	学校（教員含む）	東京大学，福岡県教育委員会
	公務員	気象庁，九州地方整備局，特許庁，九州環境管理協会
数理学府	民間企業等	大和証券，富士通，ナカマ，ワイジェイカード，日立製作所，西部ガス情報システム，UTテクノロジー，ファースト，日本総合システム，フォルシア，西日本電信電話，クリック，ワールドインテック，日本電信電話，富士通九州システムズ，エヌ・ティ・ティ・データ九州，福岡銀行，塩野義製薬，明治安田生命保険，応研，三菱重工業，マツダ
	学校（教員含む）	福岡県教育委員会，佐賀県教育委員会，京都府教育委員会
システム生命科学府	民間企業等	WDBエウレカ社，宇部マテリアルズ，日本食研ホールディングス，村上農園，アドソル日進，イシン，楽天，エヌエス環境，新日本科学，キーエンス，日鉄ソリューションズ，LIXIL，キリンホールディングス，日立産業制御ソリューションズ，コカ･コーラボトラーズジャパン，塩野義製薬，協和キリン，三菱ケミカル，テクノプロ，双日，東洋新薬，ニトリ，日本製紙
	学校（教員含む）	九州大学
	公務員	福岡市役所，防衛省防衛装備庁
医学系学府（医科学，医療経営・管理学，保健学専攻）	民間企業等	九州大学病院，富士フイルムメディカル，福岡赤十字病院，Future，長崎大学病院，シミックホールディングス，富士電機，テレビ西日本，千代田テクノル，フィリップス･ジャパン，東京労災病院，神戸大学病院，西日本設計工業，久留米大学病院，京都大学医学部附属病院，東京大学医学部附属病院，イオン九州，福岡大学病院，三菱商事
	学校（教員含む）	九州大学
	公務員	福岡県庁
薬学府	民間企業等	塩野義製薬, 小野薬品工業, 持田薬品, ニプロファーマ, 日本新薬, 小林製薬, 帝人, 大日本住友製薬, エーザイ, MSD製薬, クラシエ製薬，川澄化学工業，第一三共，ゼリア新薬工業，MeijiSeikaファルマ，アステラス製薬，WDBエウレカ社，新日本科学PPD，大塚製薬，旭化成，大鵬薬品工業，中外製薬，東レ，東ソー，科研製薬，宇部興産，JSR
	公務員	農林水産省消費安全技術センター
工学府	民間企業等	川崎重工業, 日産自動車, 三菱重工業, 東ソー, 日本製鉄, JFEスチール, 旭化成, 九州電力, 三菱電機, 本田技研工業, トヨタ自動車，日立製作所，全日本空輸，デンソー，JXTGエネルギー，三菱ケミカル，テルモ，クボタ，パナソニック，日亜化学工業，マツダ，IHI，JFEエンジニアリング，スズキ，清水建設，日揮グローバル，ヤマハ発動機，ダイキン工業，中国電力，石油天然ガス・金属鉱物資源機構，宇部興産，日本工営，九州旅客鉄道，西日本電信電話，三井化学，トヨタ自動車九州，三井住友銀行，住友化学，東レ，日本精工
	公務員	国土交通省，泉佐野市，福岡市役所
芸術工学府	民間企業等	ニトリ，フォスター電機，LIXIL，ソニー，九州旅客鉄道，RKB毎日放送，三菱自動車工業，エイベックス，博報堂，フジテレビジョン，NHKエデュケーショナル，西日本旅客鉄道，Qtnet，AJS，ファーストリテイリング，TOA，ヤマハ，アドソル日進，京セラ，大成建設，GREE，日本IBM，KADOKAWA，キヤノン，グリー，リクルート，コカ･コーラボトラーズジャパン，小野測器，コニカミノルタ，電通，凸版印刷，スズキ，ヤマハ発動機，ゼネラルアサヒ，楽天銀行，ソフトバンクグループ，ダイキン工業，三甲，鹿島建設，朝日新聞社，大建工業
	学校（教員含む）	東京芸術大学，香蘭女子短期大学，九州大学
	公務員	広島県庁，香川県庁
システム情報科学府	民間企業等	九州電力, 富士通, ソニー, KDDI, NTTドコモ, 西日本電信電話, ソフトバンクグループ, 日本IBM, 日鉄ソリューションズ，日産自動車，エヌ・ティ・ティ・データ，トヨタ自動車，ソニーLSIデザイン，パナソニック，日本電営，いい生活，島津製作所，キヤノンメディカルシステムズ，日鉄日立システムエンジニアリング，ヤフー，アクセンチュア，東海旅客鉄道，野村総合研究所，NTTデータ，キヤノン，三菱重工業，日本電気，三菱電機，バルテス，本田技研工業，大和証券，商船三井，オムロン，ダイキン工業，凸版印刷，トヨタ自動車九州
	公務員	九州管区警察局
総合理工学府	民間企業等	九州電力，トヨタ自動車，トヨタ自動車九州，三菱重工業，三菱電機，日産自動車，TOTO，JFEスチール，日本製鉄，ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング，マツダ，富士通，京セラ，東ソー，川崎重工業，サントリーホールディングス，ダイキン工業，西部ガス，パナソニック，村田製作所，ブリヂストン，東京エレクトロン，住友電気工業，デンカ，住友電装，神戸製鋼所，豊田自動織機，本田技研工業，AGC，積水化学工業，日油，スズキ，タカギ，小松製作所，ディスコ，東レ，日本軽金属，デンソー，IHI，西日本電信電話，シマノ
	公務員	宇宙航空研究開発機構，陸上自衛隊
生物資源環境科学府	民間企業等	日本製粉，明治，三菱商事ライフサイエンス，日本製紙，タキイ種苗，マイクロンメモリジャパン合同会社，キリンホールディングス，日本水産，日清製粉，クボタ，日本農産工業，タカギ，鳥越製粉，日本たばこ産業，Mizkan J plus Holdings，キッコーマン，伊藤園，王子ホールディングス，WDBエウレカ社，麻生，三栄源エフ・エフ・アイ，日医工，アサヒビール，日本電営，インドネシア原子力，小林製薬，中国放送，日本ハム食品，山崎製パン，森永乳業，大塚製薬，島津製作所，三菱自動車工業，クレハ，新日本科学PPD，JFE商事
	公務員	福岡県庁，農林水産省消費安全技術センター，青年海外協力隊，農林水産省，宮崎県庁，広島県庁，国税庁，長崎県庁
統合新領域学府	民間企業等	トヨタ自動車九州，本田技研工業，デンソー，いすゞ自動車，マツダ，村田製作所，NTTデータNJK，日本電産，コスモス薬品，星野リゾート，サダマツ，ジェイテクト，住友ゴム工業，デザイントランスメディア，PDグローバル，西日本シティ銀行，アウトソーシングテクノロジー，日産自動車，日本化薬，JFEエンジニアリング，日立ドキュメントソリューションズ
	学校（教員含む）	福岡県教育委員会
	公務員	国立印刷局

※主な就職先：概ね２０社程度を掲載。
民間企業等，学校，公務員の区分は本学独自の方法。就職者がいない区分については未掲載。

令和元年度 修了生の主な就職先

博　士（後期）

学部	種別	主な就職先
地球社会統合科学府	民間企業等	九州大学，久留米大学，北九州市立大学，太原理工大学，浙江樹人大学，杭州師範大学，厦門大学嘉庚学院
	公務員	本宗寺，野の花学園，国営クウェート通信
人間環境学府	民間企業等	製鉄記念八幡病院，加治木温泉病院，PRE-FIT 合同会社，織本構造設計
	学校（教員含む）	九州大学，山東大学，佐賀大学，久留米大学，九州共立大学，九州産業大学，九州女子短期大学
	公務員	太子町役場
法学府	学校（教員含む）	九州大学，岡山商科大学，北九州市立大学
経済学府	民間企業等	日本貿易振興機構アジア経済研究所
	学校（教員含む）	九州大学，中村学園大学，山形大学，早稲田大学，大分大学
理学府	民間企業等	読売新聞社，アクセンチュア，三菱ケミカル，ロート製薬，PwC コンサルティング合同会社，京都大学防災研究所，中外製薬，高砂香料工業，分子科学研究所
	学校（教員含む）	九州大学，インペリアル・カレッジ・ロンドン，東京工業大学，産業技術総合研究所，出水中央高等学校，香川大学，大連理工大学
数理学府	民間企業等	ファーウェイ，ブレインパッド
	学校（教員含む）	九州大学，ニュルンベルク専門大学，上智福岡中学高等学校
システム生命科学府	民間企業等	藤本製薬，住友ベークライト，テクノスデータサイエンス・エンジニアリング，田辺三菱製薬，マルハニチロ，コーセー，アサヒクオリティーアンドイノベーションズ
	学校（教員含む）	九州大学，高知工科大学
医学系学府（医科学，医療経営・管理学，保健学専攻）	民間企業等	九州大学，国立病院機構，飯塚病院，福岡赤十字病院，浜野八病院，九州中央病院，特定医療機能推進機構九州医院，小倉医療センター，佐原病院，京都大学医学部附属病院，九州鉄道記念病院，製鉄記念八幡病院，熊本市民病院，大阪大学歯学部附属病院，福岡記念病院
	学校（教員含む）	九州大学，佐賀大学，東亜大学，国立高等専門学校機構，大阪大学，福岡大学，金沢大学，産業医科大学，岩手医科大学
歯学府	民間企業等	九州大学病院，大隅鹿屋病院，スマイルあわた歯科クリニック，なかしま歯科，屋久島徳洲会病院，佐世保共済病院，宮崎大学医学部附属病院
	学校（教員含む）	九州大学，帝京大学，アイルランガ大学
	公務員	防衛省
薬学府	民間企業等	大日本住友製薬，九州大学病院，東レ，中外製薬，武田薬品工業，マルホ，第一三共
	学校（教員含む）	熊本県庁
工学府	民間企業等	日本製鉄，日本ゼオン，三井化学，日立製作所，日産化学，水ing，三菱プレシジョン，SUMCO，イーグル工業，住友金属鉱山，インドネシア原子力，大進，東京応化工業，日本原子力研究開発機構，LGエレクトロニクス，ソニー，産業技術総合研究所，神戸製鋼所，デンソー，積水化学工業
	学校（教員含む）	九州大学，エルサルバドル大学，アイルランガ大学，神奈川大学，大阪大学，東京大学，福岡大学，ワシントン大学，モンゴル国立医科大学
	公務員	航空自衛隊，海上自衛隊
システム情報科学府	民間企業等	日本電信電話，西日本プラント工業，キオクシア，KDDI総合研究所，富士通研究所，三菱日立パワーシステムズ，森永乳業，東京エレクトロン
	学校（教員含む）	九州大学，東京大学，岡山大学，スエズ運河大学，ラオス国立大学
芸術工学府	民間企業等	ゼネラルアサヒ
	学校（教員含む）	東莞理工学院，小田原短期大学
総合理工学府	民間企業等	日立製作所，三菱電機，日本アルゴリズム，堀場製作所，日産自動車，日本製紙，カルソニックカンセイ，日鉄エンジニアリング，IHI，TDK，コベルコ科研
	学校（教員含む）	九州大学，西南女学院中学・高等学校，上海交通大学，長崎大学，香港大学，あーさぬら科学技術大学，新居浜工業高等専門学校，バンドン工科大学
生物資源環境科学府	民間企業等	産業技術総合研究所，阪本薬品工業，秋田県農業試験場，JSR，JXTGエネルギー，山崎製パン，新腰化学工業，塩野義製薬，Natio，林業・林産物研究所
	学校（教員含む）	九州大学，カントー大学，高知大学，トゥイロイ大学，茨城大学，熊本大学
	公務員	福岡県庁，宮崎県庁
統合新領域学府	民間企業等	日立オートモティブシステムズ，リコー，化学物質評価研究機構
	学校（教員含む）	九州大学，別府大学

※主な就職先：概ね２０社程度を掲載。

民間企業等，学校，公務員の区分は本学独自の方法。就職者がいない区分については未掲載。

主な資格一覧

国家試験・資格一覧表

[区分]
1−科目の履修(卒業)を要件とする資格
2−科目の履修(卒業)で受験資格のある試験
3−科目の履修(卒業)後実務経験を要件とする資格
4−科目の履修(卒業)後実務経験を要件とする試験
5−科目の履修(卒業)後指定の職就任を要件とする資格
6−前提となる資格を取得して得られる資格
7−前提となる資格を取得後実務経験を要件とする資格
8−国が認定する1〜7以外の資格又は試験

学　部	学　科	資格・試験名	区　分
共創学部			
文　学　部		学芸員	5
		公認心理師試験	4
教育学部		児童福祉司	5
		社会教育主事補	5
		社会教育主事	7
		公認心理師試験	8
法　学　部		司法試験，税理士試験　等	8
経済学部			
理　学　部	物理学科	学芸員	5
	化学科	学芸員	5
		甲種危険物取扱者試験	2
	地球惑星科学科	学芸員	5
		測量士補	1
		測量士	3
	数学科	学芸員	5
	生物学科	学芸員	5
医　学　部	医学科	医師国家試験	2
	生命科学科		
	保健学科（看護学専攻）	看護師国家試験	2
		保健師国家試験 ※専攻内で選抜の上，所定の単位を修得した者に限る。（10名以内）	2
	保健学科（放射線技術科学専攻）	診療放射線技師国家試験	2
		放射線取扱主任者試験	8
	保健学科（検査技術科学専攻）	臨床検査技師国家試験	2
歯　学　部	歯学科	歯科医師国家試験	2
薬　学　部	創薬科学科	甲種危険物取扱者試験	2
		公害防止管理者	3
		臨床検査技師国家試験（一定の科目を追加履修することが必要）	2
		毒物劇物取扱責任者	1
		食品衛生管理者	1
		飼料製造管理者	1
		食品衛生監視員（公務員試験に合格し，食品衛生関連部署に配属されることが必要）	5
	臨床薬学科	薬剤師国家試験	2
		臨床検査技師国家試験（一定の科目を追加履修することが必要）	2
		医療用具の製造（輸入販売）所の責任技術者	6
		化粧品の製造所の責任技術者	6
		食品衛生管理者	1
		医薬部外品の製造所の責任技術者	6
		食品衛生監視員	5
		医薬品の製造業の管理者	6
		環境計量士（濃度関係）	6
		甲種危険物取扱者試験	2
		公害防止管理者	3
		毒物劇物取扱責任者	1
		船舶に乗り組む衛生管理者	1
		飼料製造管理者	1
		登録販売者試験	2
工　学　部	全学科共通	技術士試験	2
		公害防止管理者	3
	電気情報工学科	第一種電気主任技術者	3
	材料工学科	甲種危険物取扱者	2
		放射線取扱主任者試験	2
		衛生管理者	4
		環境計量士	2
		第１種圧力容器取扱作業主任者	2
		ガス主任技術者	2
	応用化学科	甲種危険物取扱者	2
		放射線取扱主任者試験	2
		衛生管理者	4
		環境計量士	2
		第１種圧力容器取扱作業主任者	2
		ガス主任技術者	2
	化学工学科	甲種危険物取扱者	2
		放射線取扱主任者試験	2
		衛生管理者	4
		環境計量士	2
		第１種圧力容器取扱作業主任者	2
		ガス主任技術者	2
	融合基礎工学科	甲種危険物取扱者	2
		特定化学物質作業主任者	8
		放射線取扱主任者	8
		環境計量士	8
		第一種圧力容器取扱作業主任者	8
		特定第一種圧力容器取扱作業主任者	6
		ガス主任技術者	8
		安全衛生管理者	4
		高圧ガス製造保安責任者乙種	8
		エネルギー管理士	7

学　部	学　科	資格・試験名	区　分
工　学　部	機械工学科	一級建設機械施工技士試験	4
		一級ボイラー技士免許試験	4
		特級ボイラー技士免許試験	4
		二級建設機械施工技士試験	4
		二級ボイラー技士免許試験	4
		自動車整備士	4
	航空宇宙工学科	一級建設機械施工技師試験	4
	量子物理工学科	放射線取扱主任者	6
		エックス線作業主任者	6
		原子炉主任技術者	7
		核燃料取扱主任者	6
		甲種危険物取扱者	2
		エネルギー管理士	7
		第一種冷凍空調技士	6
	船舶海洋工学科	溶接管理技術者評価試験	4
	地球資源システム工学科	火薬類取扱保安責任者試験	2
		発破技士	3
		一級建設機械工技術検定	4
		二級建設機械工技術検定	4
		一級土木施工管理技術検定	4
		二級土木施工管理技術検定	4
		一級建築施工管理技術検定	4
		二級建築施工管理技術検定	4
		一級電気工事施工管理技術検定	4
		二級電気工事施工管理技術検定	4
		一級管工事施工管理技術検定	4
		二級管工事施工管理技術検定	4
		一級造園施工管理技術検定	4
		二級造園施工管理技術検定	4
	土木工学科	測量士	3
		測量士補	1
		１級土木施工管理技士	4
		２級土木施工管理技士	4
		コンクリート主任技士	4
		コンクリート技士	4
		コンクリート診断士	4
		コンクリート構造診断士	4
		土木鋼構造診断士	4
		海洋・港湾構造物維持管理士	4
		火薬類取扱保安責任者	2
		特別上級土木技術者	4
		上級土木技術者	4
		１級土木技術者	4
		２級土木技術者	2
	建築学科	一級建築士試験	2
		二級建築士試験	2
		木造建築士試験	2
		インテリアプランナー	2
		コンクリート主任技士試験	4
		コンクリート技士試験	4
		コンクリート診断士試験	4
		一級建設機械施工技士試験	4
		二級建設機械施工技士試験	4
		一級土木工事技術者試験	4
		建築設備士試験	4
		一級土木施工管理技術検定	4
		二級土木施工管理技術検定	4
芸術工学部	芸術工学科 （環境設計コース） （インダストリアルデザインコース）	一級建築士試験	2
		二級建築士試験	2
		木造建築士試験	2
		インテリアプランナー試験	2
農　学　部	生物資源環境学科	学芸員	5
	（生物資源生産科学コース・生物生産環境工学分野）	技術士試験	4
		修習技術者	1
		測量士	3
		コンクリート主任技士試験	4
		測量士補	1
		一級建設機械施工技術検定	4
		二級建設機械施工技術検定	4
		一級土木施工管理技術検定	4
		二級土木施工管理技術検定	4
		一級建築施工管理技術検定	4
		二級建築施工管理技術検定	4
		一級電気工事施工管理技術検定	4
		二級電気工事施工管理技術検定	4
		一級管工事施工管理技術検定	4
		二級管工事施工管理技術検定	4
		一級造園施工管理技術検定	4
		二級造園施工管理技術検定	4
	（応用生物科学コース）	毒物及び劇物取扱責任者	1
		食品衛生管理者	1
		食品衛生監視員	5
	（地球森林科学コース）	樹木医補	1
		一級造園施工管理技術検定	4
		二級造園施工管理技術検定	4
		森林情報士（森林 GIS 部門）２級	1
	（動物生産科学コース）	家畜人工授精師（畜産）	8
		食品衛生管理者	1
		食品衛生監視員	5

学士の学位及び教育職員免許状について

本学を卒業すると学士の学位が授与されます。

中学校及び高等学校教諭免許状を取得するためには，卒業に必要な所定の単位の外に，免許状取得のために必要とされる単位を修得しなければなりません。現在，各学部で取得できる免許状の種類と学士の学位は下記のとおりです。

学部における教育職員免許状の種類（免許教科）

学部名	学科名	学士の学位	中学校教諭 一種免許状	高等学校教諭 一種免許状
共創学部		学　術	—	—
文学部	人文学科	文　学	国　語	国　語
			社　会	地理歴史，公民
			英　語	英　語
			—	ドイツ語
			—	フランス語
			—	中国語
教育学部		教育学	社　会	地理歴史，公民
法学部		法　学	社　会	地理歴史，公民
経済学部	経済・経営学科	経済学	社　会	公　民
	経済工学科		—	公　民
理学部	物理学科	理　学	理　科	理　科
			数　学	数　学
	化学科，地球惑星科学科		理　科	理　科
	数学科		数　学	数　学
			—	情　報
	生物学科		理　科	理　科
医学部	医学科	医　学	—	—
	生命科学科	生命医科学	—	—
	保健学科	看護学，保健学	—	—
歯学部		歯　学	—	—
薬学部	創薬科学科	創薬科学	—	—
	臨床薬学科	薬　学	—	—
工学部	電気情報工学科 材料工学科 応用化学科 化学工学科 融合基礎工学科 機械工学科 航空宇宙工学科 量子物理工学科 船舶海洋工学科 地球資源システム工学科 土木工学科 建築学科	工　学	—	—
芸術工学部	芸術工学科	芸術工学	—	—
農学部	生物資源環境学科	農　学	理　科	理　科
			—	農　業
			—	水　産

Admissions Policy
アドミッションポリシー

共 創学部
School of Interdisciplinary Science and Innovation

❶ 教育理念

人類は今，歴史上かつてないほど大きな変化の時代に生きています。これは急激に進む科学技術の進歩や，グローバル化の進展などの影響で，ヒトを含む生命や社会，国や地域，そして地球環境の「在り方」が，大きく変動していることに由来します。この変化は，人工知能（AI）やIoTの活用など，人類に新しい可能性を拓く一方で，大規模地球変動，生物多様性の減少，宗教・民族対立，テロ，越境犯罪，貧困・格差，エネルギー資源問題，食料問題など，様々な問題を引き起こしています。これらの問題の多くは種々の要因が複雑に絡まりあって生じているために，今までの学問体系のどれか一つだけを使って解決することは，極めて困難です。今こそ，これまで人類が積み上げてきた様々な学知を適切に組み合わせ，我々が直面している課題を解決し，新たな未来を切り開くことが求められています。共創学部は，これらの現代社会が直面している問題に取り組む意欲をもち，その解決に貢献できる能力をもった人材の育成を目的とします。

共創学部で学んだ学生は，卒業（学位の授与）に際して，学生一人ひとりが次の４つの力を獲得する目標に到達することが期待されています。

❶「コレを学んだからコレをする」という専門性を先行させるのではなく，「コレをしたいからコレを学ぶ」という**「能動的学習能力」**

❷現実の問題に対応するため適切に課題を設定し，既存の学知を組み合わせて解決方策を探究する**「課題構想力」**

❸構想した課題解決方策について他者と議論し，他者の知見や能力をも組み合わせる形で協働し実現可能な解決方策を創造する**「協働実践力」**

❹解決策の実行のために多くの人にその内容を説明し理解と協力を得ることのできる**「国際コミュニケーション力」**

共創学部は，これら4つの態度・能力の修得を通して獲得される能力を**「共創的課題解決力」**と呼びます。４年間の学部教育をとおして共創的課題解決力を身につけた卒業生は，実務，専門，研究の各領域において，グローバルな課題解決のために活躍することが期待されます。

❷ 教育プログラム

教育課程の特色・内容

グローバルな課題解決に貢献できる人材を育成するために，共創学部は次のような柱からなる独自の教育プログラムを提供します。

❶課題解決型のカリキュラム

地球規模の課題は一つだけの学問体系で理解し，解決することは困難です。共創学部では，複数の学問分野の知識や技能を組み合わせて問題の解決方法を考える力を身につけるために，既存の学問分野を横断・融合したり，学生がチームを組んで課題解決に取り組んだりする授業を用意し，課題の解決に必要な複数の専門分野の高度な知識や技能，考え方を養成していきます。

❷国際コミュニケーション力を鍛えるカリキュラム

グローバルな課題の解決のためには国際的なコミュニケーション力が不可欠です。共創学部では，初年時に英語インテンシブコースで英語を集中的に訓練します。また日本人と留学生が共に学ぶ授業スタイルを取り入れて，日常的に留学生との交流が行われる環境をつくり，海外大学等への留学を必須とし，そのための準備教育も実施します。

❸チュートリアル・システム

幅広い分野から自分に必要な授業を選択するために，入学時からチューター教員による履修指導を行います。教員との対話を通して，自分の学ぶ科目を選択し，徐々に自分の研究課題を絞っていくことができます。

❹「エリア」という新しい学びの場

絶えずダイナミックに揺れ動く現代社会で新たな知や価値を生み出すために，従来の学問分野の枠組みを超えて，社会的な課題の存在する４つのエリアを設定し，これらを幅広く学びながら，自分の課題を見つけていきます。

- **「人間・生命エリア」:** 生命の発生・進化や，人間の思考・認知・判断の仕組みなどを，生物学，認知科学，脳科学を通じて学びます。
- **「人と社会エリア」:** 意思疎通における言語の仕組みや，先史社会，多文化共生，社会における生活実践としての福祉，宗教観などを，社会学，文化人類学，コミュニケーション学等を通じて学びます。
- **「国家と地域エリア」:** 国家や地域の歴史，特徴的な経済・社会現象，政治と経済の関係性などを，政治学，経済学，歴史学等を通じて学びます。
- **「地球・環境エリア」:** 地球がもつ資源や，地球環境の変化による災害，生命が環境に与える影響などを，地球惑星科学，社会・安全システム科学，生物学等を通じて学びます。

また，４つのエリアを横断し，共通の基礎となる必修科目「データサイエンス」等を，高年次で専門的に深く学修することもできます。

❸ アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

◆求める学生像

共創学部では次の資質や能力，態度をもった学生を国内外から積極的に受け入れる。

「主体的自律性」：創造的な学びのテーマを自ら設定し，既存の学問の枠組みを超えて，必要となる生きた知識や有用な技能を獲得しようとする主体的な態度を持っている。

「協働的学習能力」：科学的探究活動や社会活動などについて優れた資質と豊富な経験を持ち，他者と協力しながら実効性のある活動を進めていくことのできる協働的な姿勢を持っている。

「多角的思考力」：既存のさまざまな学問分野の基礎と応用を幅広く修得し，高度で複雑な社会的課題の解決のためにこれらの知を批判的に活用し統合できる思考力を持っている。

「国際的視野」：国際社会に対する強い関心と多様な経験を有するとともに，世界を舞台にした活動に対する強い意欲を持ち，これを実際に実現するための高い語学力を持っている。

◆求める学生像と学力３要素との関連

❶**知識・技能**：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。加えて，特に国際社会に対する強い関心と多様な経験，世界を舞台にした活動に対する強い意欲，および，これらを実現するための高い語学力。

❷**思考力・判断力・表現力等の能力**：多面的に考え，客観的に批判し，自分の言葉で人に伝える資質。加えて，既存のさまざまな学問分野の基礎と応用を幅広く修得し，高度で複雑な社会的課題の解決のためにこれらの知を批判的に活用し統合できる思考力。

❸**主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度**：多様性を尊重する態度，異なる考えに共感する寛容性。加えて，創造的な学びのテーマを自ら設定し，既存の学問の枠組みを超えて必要となる生きた知識や有用な技能を獲得しようとする主体的な態度，科学的探究活動や社会活動などについて優れた資質と豊富な経験を持ち，他者と協力しながら実効性のある活動を進めていくことのできる協働的な姿勢。

◆入学者選抜方法との関係

共創学部では「知識を問う入試から能力を見極める入試への転換」を掲げ，志願者の能力を複数の観点から見極めるために，次に挙げる4つの方針に基づいて入学者選抜を実施する。

❶4種類の選抜試験

共創学部が求める学生像の観点から，志願者の能力や態度等を見極めるために，「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」「国際型入試」の4種類の選抜試験を実施する。また，それぞれの入試類型の中でも複数の観点を組み合わせ，志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価する。

❷文理共通問題

一学部一学科の学部として，文理共通の試験問題を課す（留学生に対する試験を除く）。理系クラスで学んできた志願者も，文系クラスで学んできた志願者もどちらも解答可能な問題を用意し，いずれかが不利になることのないよう配慮する。

❸志望理由書
　これまでにない新しい学部であることを鑑み，すべての入試類型で「志望理由書」の提出を求め，学部への理解や適性などを確認する。
❹障害を有する者に対する合理的配慮
　共創学部の受験にあたり，受験上の配慮や支援を必要とする場合，入学後に配慮や支援を必要とする場合の事前相談を受け付け，合理的配慮を検討する。求める学生像と学力３要素と入学者選抜方法との関係については，右表「入学者選抜方法」のとおりである。

◆入学者選抜方法

	1. 知識・技能	2. 思考力・判断力・表現力等の能力	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
総合型選抜	調査書 活動歴報告書 講義レポート 小論文	志望理由書 講義レポート 小論文 集団討論 個人面接	調査書 志望理由書 活動歴報告書 集団討論 個人面接
学校推薦型選抜	推薦書 調査書 活動歴報告書 大学入学共通テスト	推薦書 志望理由書 活動歴報告書 プレゼンテーション 個人面接	推薦書 調査書 志望理由書 プレゼンテーション 個人面接
一般選抜	調査書 大学入学共通テスト 個別学力検査	志望理由書 個別学力検査 小論文	調査書 志望理由書 小論文
国際型入試	個別学力検査または 日本留学試験等	個別学力検査または 日本留学試験等 志望理由書 個人面接	志望理由書 個人面接

文学部
School of Letters

① 教育理念

教育理念・目標，育成する人材像

　文学部の諸学問の根本は，私たちが用いる言葉を通じて，人間の本質とその営為を探求することにあります。ここで言葉は，単なる情報伝達の手段ではなく，人間の精神文化を培い，表現し，蓄積する知の宝庫を意味しています。言葉に自覚的かつ批判的に関わる中で，人間存在の奥深さへと眼指しを向け，文化・歴史・社会の多様性を認識し，新たな人文学的知の創造に寄与していくことが，文学部の教育理念です。

② 教育プログラム

教育の目的

　文学部は，各専門領域の研究者である教員と学生とが教育と研究を通して研鑽を行い，人文学的な知識・思考方法を習得する活気に満ちた学部です。教育の目的は，人文学的教養と知性を身につけ，研究や仕事の場で活躍する優れた人材を養成し，国際的な社会に送りだすことにあります。

教育課程の特色

　文学部は全体を一学科（人文学科）とし，哲学・歴史学・文学・人間科学の4コースの下に21の専門分野が置かれています。学生は一年間教養教育を受けた後，二年次からいずれかのコース・専門分野に所属し専門分野の講義・演習を受講するとともに文学部の全分野の多様な授業を履修することができます。そして最終的に，自らの関心に従って所属の専門分野からテーマを選び，四年間の勉学の集大成として自力で卒業論文をまとめなければなりません。
　また総合型選抜による国際コースでは，一年次において独自の英語を重視した教養教育を受け，二年次以降は通常のコースと同様にいずれかのコース・専門分野に所属するとともに，国際性を重視した独自の授業を履修します。

③ アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

◆求める学生像

　文学部では，自ら問題を見出し，筋道を立てて思考し，正確に表現できる学生の育成を目指しています。そのためには，自ら調査，読書をし，他の人々と対話しつつ自らの考えを発展させていく姿勢が大切です。それゆえ，文学部で学ぼうとする学生には，何よりも次の三つの資質を備えていることが望まれます。
❶言葉への強い興味。とりわけ，文学作品や古典に対する感受性
❷人間への飽くなき好奇心と，「私とは何か？」という真摯な問いかけ
❸文化・歴史・社会といった，世界の多様性への開かれた関心
　さらに，国際コースの学生には，特に次のような資質を備えていることが望まれます。
❶日本語と，複数の外国語への強い興味，ならびに文学や思想に対する感受性。
❷世界の多様な文化・歴史・社会への開かれた関心。
❸将来国際人として活躍することへの意欲。

◆求める学生像と学力３要素との関連

❶知識・技能：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。
❷思考力・判断力・表現力等の能力：自らが行う研究で問題を発見し，仮説を構築するとともに，多面的に考え，客観的に批判して自身の仮説を鍛え，それを自分の言葉で人に伝える資質。
❸主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度：人間や言葉への広い関心から主体的に学ぶ意欲，多様性を尊重する態度，異なる考えに共感する寛容性。

◆入学者選抜方法との関係

　本学文学部では，次の3種類の入試を実施しています。国際コース以外の学生のプログラムでは，これらのうち，「一般選抜（前期）」「一般選抜（後期）」の入試を課します。また，国際コースの学生のプログラムでは，これらのうち，「総合選抜型」の入試を課します。

	1. 知識・技能	2. 思考力・判断力・表現力等の能力	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	調査書
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト 小論文	小論文	調査書 志望理由書
総合型選抜（国際コース）	調査書 大学入学共通テスト	英語小論文	調査書，志望理由書 英語による個人面接

教育学部
School of Education

九州大学教育学部は1949(昭和24)年5月に文学部教育学講座を母胎に設置された学部です。当初は敗戦後の新しい民主主義に基づく社会を構築するために教育界の指導者を養成することを目的としていました。その後の教育界の変化に伴い常に教育社会の中心で活躍できる人材を養成してきました。

① 教育理念

教育理念・目標，育成する人材像

九州大学教育学部は，人間に対する深い洞察と共感的態度を基盤に持ちながら，人間と人間のふれあう社会のさまざまな領域において創造的に問題解決のできる人材を養成することを目的としています。

教育学部における教育は，人間の発達と形成を軸とする幅広い総合人間科学としての教育学・心理学に関する理論的並びに実践的な基礎教育と専門教育を通じて，具体的には以下の5つのタイプの人材の育成を想定しています。

❶学部・大学院（本学部・本学大学院人間環境学府等）の一貫教育を経て，国内外の高等教育機関・研究機関等で教育・研究にたずさわる専門研究者。
❷学部さらには大学院での教育を経て，各種の教育・福祉機関等において教育・福祉の実践的活動にたずさわる専門職や指導者。
❸官公庁及び民間企業等で実践的な人材開発や能力開発，また教育分野や心理分野での実践活動にたずさわる専門研究者。
❹地域社会，さらには国際社会において，ボランティア活動としての教育的活動や福祉的活動にたずさわる専門家や指導者。
❺心理カウンセラーとして心理相談や心理ケア等の専門的活動にたずさわる専門家や指導者ならびにボランティア活動家。

② 教育プログラム

教育課程の特色

教育学部は人間の発達と成長を軸とした総合的な人間科学を目指し，その基本を作っているのは教育学と教育心理学である。この二つの領域を総合的に学びつつ学年進行にともない，その専門性を深めていく方法をとっている。大きく教育学系と教育心理学系にわかれ，さらに教育学系には国際教育文化コースと教育社会計画コース，教育心理学系には人間行動コースと心理臨床コースの4つのコースを置いている。

教育指導体制

第3学年の前期に指導教員を選択して，その教員の研究室に所属することになります。そして指導教員の指導のもとでその専門分野の基礎的な学修をしつつ，自分の研究テーマを見つけます。そして卒業論文のための調査や実験を重ねて，卒業論文を書くことになります。

③ アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

◆求める学生像

教育学部は人間の発達と成長を軸とした総合的な人間科学を学ぶところであり，人間に高い関心を持っていることが大切な要件である。入学後にも，人間に関係する社会科学，人文科学，自然科学を学び続けるために，次のような特徴を持った学生を求めている。

1. 人間の教育や成長について学問的観点から科学的に考えることに興味と意欲があること。
2. いろいろな観点（ものの見方や考え方，価値観）や見地（異文化や国際的視点）に立って，多面的に議論し，考察ができること。
3. 基礎的な学力を十分に持っていること。そして入学後も，専門的な知識や能力の習得に，着実に取り組めること。
4. 知識を深め，視野を広げ，事実をもとに自分の着想と論点を構築し，まとめ，発表することを継続的に行えること。

◆求める学生像と学力３要素との関連

❶**知識・技能**：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。主要科目全般の総合的な学力。
❷**思考力・判断力・表現力等の能力**：多面的に考え，客観的に批判し，自分の言葉で人に伝える資質。主体的に課題を設定し，社会における様々な事象に関心を持ち，それらについて明快な議論を構成して，他者と能動的にコミュニケーションができる能力。
❸**主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度**：多様性を尊重する態度，異なる考えに共感する寛容性。異文化および異なる社会への視点と多面的な理解を示す能力。

◆入学者選抜方法

	1. 知識・技能	2. 思考力・判断力・表現力等の能力	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	調査書
総合型選抜	調査書 小論文	プレゼンテーション 資料作成	個人面接 プレゼンテーション質疑応答
国際入試	調査書 日本留学試験 TOEFL等の外国語試験	プレゼンテーション	志望理由書 個人面接 プレゼンテーション質疑応答

※令和４年度入試限りの措置として，選抜方法を変更しています。令和４年度入試の入学者選抜方法については，募集要項をご確認ください。

法学部
School of Law

本学部は，大正13年（1924年）に九州大学法文学部法科として発足し，昭和24年（1949年）に法学部として独立しました。以来，1万7千人を超える卒業生を各界に輩出しています。新しい時代の要請に対応した法学教育・政治学教育を通じて，創造性豊かな，次世代を担う人材の育成を目的とします。

① 教育目標

本学部は，以下の教育目標の達成に向けて，学生一人ひとりの主体的・系統的な学びを重視した実りある法学・政治学教育を行います。

❶現代社会の法的・政治的諸問題を多様な観点から読み解き，それらの問題に対応していく基盤的専門知識と技能を修得する。
❷法学・政治学的専門知識と技能をもとに，問題解決に向けて批判的・創造的な見地から新たなルールや政策を形成していく能力を身につける。
❸地域社会・日本社会・国際社会にあってリーダーシップを発揮しうる創造性豊かな人材を育成する。
❹国際ビジネスの分野で活躍するための法的知識・英語力の双方を備え，グローバル社会に対応出来る人材を育成する。

② 教育プログラム

教育課程の特色・内容

本学部の教育カリキュラムは，大きく５つの分野（基礎法学，公法・社会法学，民刑事法学，国際関係法学，政治学）に分類される科目群を，学年進行と習熟度に応じて「積み上げ型」（入門科目，基盤科目，展開科目）に配置し，学生本人の興味や関心，そして将来の進路に沿って体系的・総合的に各授業を選択できる仕組みを提供しています。

１年次は，文系・理系を越えた幅広い視点から，専門科目を学ぶための基礎

教養を身につける「基幹教育科目」を履修します。2年次からは，法学部専攻教育科目の本格的な履修が始まります。法学・政治学の専門科目への導入教育を行う「入門科目」を皮切りに，すべての法学部生に共通の基盤的専門知識の習得を目指す「基盤科目」を軸としつつ，それを学生自身のニーズに即してより広い視野から，より高い専門性に向けて発展させる「展開科目」の履修に繋げていきます。

本学部では少人数教育に特に力を入れています。2年生の法政基礎演習に続き，3年生からは演習科目（全員必修のゼミナール）や外書講読科目が開講されます。教員ごとに特色のある多彩なゼミナールの場では，学生自身の関心に即したテーマで研究・発表を行い，議論を重ねていく中で，教員・学生相互の人間的な連携を深め，主体性をもって自ら問い，論理的に思考し，表現する力を養います。研究成果をゼミ論文にまとめて提出させるゼミも多く，法学部教育の総決算的役割を果たしています。

このように，本学部のカリキュラムに沿って5つの分野を横断する系統的学修に取り組めば，法学・政治学の専門知識・技能に裏打ちされた問題分析能力・問題解決能力・構想力を着実に培うことができるでしょう。

さらに，GV（GlobalVantage）プログラムでは，大学院法学府 LL.M. プログラムへの進学に必要とされる英語力及び国際ビジネス法の基礎知識を修得できるように，通常のカリキュラムの範囲内で英語力を涵養するための少人数指導の授業を提供するほか，留学機会も確保しています。

また，2019年度以降の入学者を対象として「法科大学院連携プログラム」も始まっています。これは，法科大学院進学希望者に法科大学院教育との接続を考えた体系的な教育を行うもので，いわゆる「法曹コース」として各大学に置かれている仕組みに相当します。

教育指導体制

本学部のカリキュラムは，基礎から応用へ，伝統的なものから先端的なものへと，習熟度を考慮してバランスよく配置されています。講義を担当するスタッフも多彩で，それぞれの専門分野で主導的役割を果たしている教授陣を始め，世界各国から招聘された外国人教員の担当する講義・ゼミナールでは，日本の法や政治を先端的・国際的な視点から捉え直す機会が豊富に提供されています。また，中央官庁や地方公共団体，民間企業・国際機関で実務経験を積んだ教員が担当する講義等からは，現実社会の変容や実務と理論を架橋する必要性を多面的に学ぶことができます。

修学支援体制については，学年の節目ごとにそれぞれの学年に応じた全体ガイダンスを開催し，履修上の注意点について詳しく説明しています。修学上の悩みを抱えた学生や単位修得の進んでいない学生には，4月と9月に一斉修学相談の機会を設け，個別面接で対応しています。また，ゼミナール等には，学生と世代の近い大学院生や助教らがチューターとして参加しており，気さくに修学上の問題，学生生活に関する質問・相談に応じています。ゼミナール単位でのスポーツ活動，合宿研修，他大学との合同ゼミ，旅行等も盛んに行われており，法学部支援の学生合宿研修や海外研修といった企画も充実しています。また，学生の自学自習や課外活動の場として，PCや参考図書を配した法学部情報サロンが整備されています。海外留学や留学生との交流，卒業後のキャリア・デザインを担当する専門スタッフも常駐しています。このように，本学部は入学から卒業まで，学生のニーズを包括的にサポートする体制を整えています。

本学部は西日本における法学・政治学研究のセンターとしても重要な役割を果たしています。中央図書館には図書約240万冊，および5，000種を越える内外の雑誌が所蔵されていますが，法学・政治学に関連する図書についても，多数の貴重書を含む約40万冊以上が所蔵されており，こうした法学・政治学関連の豊富な図書・資料を利用して学修を進めることができます。

卒業要件及び成績評価

卒業に必要な128単位のうち，法学部専攻教育に関する科目として80単位以上の修得が必要です。成績評価は，S，A，B，Cまでが合格，Fが不合格です。必要単位を満たし卒業認定されると，学士（法学）の学位が授与されます。なお，法学部に3年以上在学した者で，所定単位を優秀な成績で修得したものは，4年未満の在学であっても卒業者として認められることがあります。

❸ アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

◆求める学生像

世の中のあらゆる問題は法により紀律されている。そのような，法の支配する社会において，法学を学んだ者の存在価値は極めて高い。法学部では，将来どのような進路を目指すとも（法学部卒業生の多くが民間企業に就職したり国家公務員・地方公務員になっており，必ずしも法曹を目指す学生ばかりではない），法学を学んだことによって社会のさまざまな課題を発見し，それを分析し，それを解決するための方途を見出す能力を有し，したがって社会に役立つ人材を育てることを目指していることから，法学部を志望する学生には，法学・政治学を専門的に学ぶための前提として，現代社会の諸問題への関心はもとより，歴史・科学・文化・外国語などの基礎教養に裏打ちされた広い視野をもって勉学に取り組む意欲，自己の問題関心に即して主体的に学ぶ姿勢が期待される。具体的には，

❶歴史や社会問題に関心を持ち，解決すべき課題を自分で発見する力
❷必要な情報を各方面から収集する技能
❸情報の分析・加工を通じて自分なりの視点・意見を作り上げようとする意欲
❹それを他者の前でわかりやすく，論理的・説得的に説明する力
❺他者との議論を通じて意見や価値観の多様性を学び，自己反省の機会を持って柔軟に修正案・改善案を見つける姿勢
❻法的知識と語学力を身に着けてグローバルな舞台で活躍しようとする意欲

の6つである。法学部は，学生の持つこれらの潜在能力を伸ばし，将来への確かな地歩を築く場を提供することを目指している。

◆求める学生像と学力3要素との関連

❶知識・技能：知識・技能：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。日頃から新聞などを読み，国内外の多様な問題について知識と関心を有していることが望ましい。
❷思考力・判断力・表現力等の能力：多面的に考え，客観的に批判し，自分の言葉で人に伝える資質。豊富な読書経験を有し，友人などとのディスカッション能力や比較的長い文章の作成能力に長けていることが望ましい。
❸主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度：現代社会の諸問題への関心，多様性を尊重する態度，異なる考えに共感する寛容性。社会性や積極性に加え，自分と異なる他者への想像力を有し，異文化社会での実体験を有していることが望ましい。

◆入学者選抜方法との関係

法学部では，教育目標の実現に必要な基礎能力の確認を主眼とし，同時に多様な学生を受け入れることができるよう，複数の選抜方法を採用している。

1. 一般選抜（前期日程）では，主要科目全般の総合的な達成度を重視して，国語・数学・外国語の試験を課し，大学入学共通テストの成績および調査書の内容を併せて評価し，入学者を選抜する。
2. 一般選抜（後期日程）では，主要科目全般の総合的な達成度の評価に加え，柔軟な理解力，的確な分析能力，論理的な表現能力等を測るために「教員の講義に関する理解度確認試験」を課す（2021年度以降）。この結果と，大学入学共通テストの成績，調査書の内容を併せて評価し，入学者を選抜する。
3. 総合型選抜では，主要科目全般の総合的な達成度に加えて英語能力を重視し，英語学力試験及び日本語と英語による面接試験を課し，大学入学共通テスト及び英語能力試験の成績，調査書，志望理由書の内容を併せて評価し，入学者を選抜する。
4. 以上のほかに，帰国子女や私費外国人留学生を対象とする特別の選抜も実施している。前者については，基礎学力検査に加えて，面接を実施する。後者については，日本留学試験及び本学の日本語試験の成績に加えて，面接を実施する。

法学部
School of Law

	1. 知識・技能	2. 思考力・判断力・表現力等の能力	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	調査書
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	理解度確認試験	調査書
総合型選抜	大学入学共通テスト 英語能力試験 英語学力試験	英語能力試験 英語学力試験 個人面接	調査書 志望理由書 個人面接

経済学部
School of Economics

① 学部教育理念

ヒト，モノ，カネ，情報の国境を越える動きが激しくなり，また IT を中心とするさまざまな技術革新により社会や人間の生活を取り巻く環境は急速に変化しています。グローバル化，情報化，科学技術の発展は，人間生活に多くの恩恵をもたらす一方で，環境汚染や地域紛争など，いろいろな問題をひきおこしています。社会が発展すればするほど，わたくしたちの直面する問題は，ますます複雑化・多様化し，不確実性の度合いを強めるのです。

このような現代社会のあり方を前にして，経済学部は，九州大学教育憲章の掲げる4つの基本原則，つまり，「人間性の原則」「社会性の原則」「国際性の原則」「専門性の原則」にのっとった教育を追求します。まず，「社会性の原則」を実現するために，国内外の社会・経済事象に対する関心・知的好奇心を刺激し，理論にかたよらない現実感覚を身につけた人材を養成します。そのために，企業，政府・自治体，市民社会との人的・知的交流を積極的に行い，社会との接点をより大きくすることで，地域社会，内外の企業，政府・自治体，あるいは国際機関に対して有用な人材を供給したいと考えています。

また，「国際性の原則」では，国際感覚の涵養を図ることによって，アジアをはじめ世界の人々の文化的，社会的，経済的発展に貢献することを目標にしています。具体的にいえば，何よりも日本の歴史・文化的知識の深耕を前提とした上で，海外研修・海外留学・留学生受け入れの積極的推進などを行って，外国語能力の向上，異文化理解，そして各国経済の分析へと連なる教育活動を推進します。

そして，「専門性の原則」では，独創性・創造性を重視しつつ，科学技術の発達と学術文化の振興を融合させることに主眼点をおき，それに向けて課題発見・解決のための創造的思考力を養います。そして，ミクロの企業等のレベルからマクロの国民経済・世界経済のレベルにいたる経済学，経営学，経済工学の基礎的理論，さらには，歴史分析，各国経済の理論的・実証的分析などの応用分野へも十分に目を配った個性あふれる教育を目指します。以上のような教育を通じて，経済学部では，経済学の基礎的学識と幅広い教養を身につけ，社会のそれぞれの分野で指導的な役割を果たしうる人材の育成に努め，「人間性の原則」を実現しようとしているのです。

② 教育プログラム

経済学部の2つの学科にまたがる統一のカリキュラムは，幅広い教養を身につけるための「基幹教育科目」と経済学を学ぶ「専攻教育科目」とから構成されています。最初の1年は「基幹教育科目」を学習し，2年次からは専門教育が中心となります。2年次には経済学の基本を中心に学習し，3，4年次は各学科に即したよりハイレベルの専門教育が実施されていきます。このうち2つの学科の共通科目である「基本科目」は次のとおりです。

＊基本科目：
ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ，マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ，経済史Ⅰ·Ⅱ，
経営学Ⅰ·Ⅱ，会計学Ⅰ·Ⅱ，国際経済学Ⅰ・Ⅱ，情報処理Ⅰ

経済学部では，このようなカリキュラム体系に基づいて，経済学に関する知識の裾野を広げるとともに，高度な専門的知識の習得が可能となるように配慮し，現代社会における経済的諸問題，諸課題に前向きに取り組む意欲をもった人材の育成を心がけています。あわせて米国，韓国，中国，イギリス，ドイツ等々，欧米・アジアの有力大学と交流協定を結び，これら諸国から留学生を受け入れるとともに，本学学生の海外派遣も積極的に行っています。これによって広く内外の機関・地域においてリーダーとして活躍できる人材を育成していこうと考えるのです。

【経済・経営学科】

① 教育理念

本学科では，経済学・経営学の基礎理論と幅広い教養，豊かな現実感覚と国際性を身につけることによって，複雑化し多様化する現代の経済社会が直面している諸問題に的確に対処し，その解決策を見い出していける人材を養成することを目標としています。

② 教育プログラム

本学科の教育課程は次の四つの点に配慮して提供されています。まず，基幹教育科目や基本科目といった基礎的教育からはじまって，専門科目へと発展する積み上げ型の科目編成によって，体系的な履修が可能であるように配慮しています。次に，少人数教育を重視し，1年次の経済・経営学プレセミナー（必修），2年次の基本演習，3-4年次の演習（必修）など，各年次で少人数教育を受けることができます。さらに，3年次の演習選択時に，「経済分析」「産業分析」「企業分析」の三つの系のいずれかに学生は属しますが，それによって，多様な問題関心と卒業後の進路に即した科目を体系的に履修できるように工夫されています。例えば，「経済分析」系では，経済統計，地域政策，金融システム，国際金融，世界経済，開発経済などの科目群を，「産業分析」系では，産業技術，産業政策，産業配置，産業構造，日本経済史，西洋経済史などの科目群を，「企業分析」系では，経営政策，経営管理，原価計算，企業会計，財務会計などの科目群を体系的に履修できます。最後に，大学院への進学を奨めるために，学部4年生を対象に大学院開講科目の一部を「学部特別専門科目」として学部に開放しています。ここで修得した単位は，大学院に進学した場合は大学院の単位として認められます。

③ アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

経済・経営学科では，その特色ある教育課程により，学生は自己の 問題関心に応じた体系的な科目履修が可能である。その結果，現実感 覚や問題解決能

力，外国語能力に基礎付けられた国際性，さらには，幅広い教養を養うことができる。先端的科学技術の急速な発展や経済 のグローバル化・市場経済化の進展などによって大きな変容を遂げつ つある現代の経済社会に深い関心をもち，経済学・経営学の基礎理論 や幅広い教養を身につけ，さらに，豊かな国際感覚を磨くことを通じ て，人類が直面している種々の問題に積極的に取り組んでいこうとい う気概をもった皆さんが，経済・経営学科に興味をもち，入学される ことを期待している。 そのために高校では，基礎的科目としての国語・数学・外国語の諸 科目をしっかりと勉強するだけでなく，地歴・公民の諸科目をできる だけ満遍なく学習することが重要となる。また理科の諸科目も経済発 展と密接不可分な科学・技術を理解するために学習することが求められる。

◆求める学生像と学力３要素との関連

❶知識・技能：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。

❷思考力・判断力・表現力等の能力：多面的に考え，客観的に批判し，自分の言葉で人に伝える資質。

❸主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度：現代の経済社会への深い関心。人類が直面している種々の問題に積極的に取り組んでいこうという気概。多様性を尊重する態度，異なる考えに共感する寛容性。常に自らを向上させようとする意欲。

◆入学者選抜方法

	1. 知識・技能	2. 思考力・判断力・表現力等の能力	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	調査書
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	小論文	調査書
総合型選抜	大学入学共通テスト	小論文	面接 調査書 志望理由書等

【経済工学科】

❶ 教育理念

現代の経済はグローバル化が進展し，相互依存関係が強まる中，将来に対する不確実性の度合いが増してきています。加えて日本では少子・高齢化や財政赤字など解決困難な課題が山積しています。こうした状況の下で社会，経済の問題に取り組むには，新しい理論を学び，数量面を中心に実証的な方法を取り入れ，現実経済の動きとの関係を検証していくことや，情報技術を活用するなどの工学的な方法による幅広いアプローチが求められています。

本学科では，社会，経済の諸問題をまず理論的枠組みで分析し，その結果を数量分析の方法に基づいて多方面から検討・評価することによって，望ましい政策や戦略を立案し，現実へフィードバックする方法の習得に教育の重点を置いています。経済工学科は全国でも唯一であり，理論分析，数量分析，政策分析に関する体系的な教育内容が実践的である点に特徴があり，理論から応用までを一体として学ぶことのできる学科です。文系や理系といった既成の枠にとらわれることなく自由で創造的な発想に基づき，社会・経済問題の解決に向け，積極的に取り組む国際的に活躍できる人材を育成していきます。

❷ 教育プログラム

本学科は，少数の必修基本科目群とそれを多方面に応用・発展させた先端的な内容を含む専門科目群から構成されています。最初の1年は幅広い教養を身に付けるための基幹教育科目を学習し，2年次からは専門教育が中心となります。2年次終了までに学習する専門基本科目は次のものです。

＊基本科目：

ミクロ経済学Ⅰ･Ⅱ，マクロ経済学Ⅰ･Ⅱ，基礎計量経済学Ⅰ･Ⅱ，情報処理Ⅰ･Ⅱ，数理統計学Ⅰ･Ⅱ，会計学Ⅰ･Ⅱ，経済史Ⅰ･Ⅱ，経営学Ⅰ･Ⅱ，国際経済学Ⅰ・Ⅱ

3年次からの専門科目は，経済システム解析，政策分析，数理情報の3分野に大別されます。経済システム解析の分野は，問題をマクロ経済，ミクロ経済レベルで最先端の経済理論や数量的手法を用いて分析しようとするものであり，政策分析の分野は，金融，財政，社会保障など多様な経済問題に関する政策を分析・評価するための基礎知識と手法を学び，新たな政策提言を行うという課題を担っています。数理情報の分野では，経済分析のための統計的，数学的基礎，大量の情報を管理し処理するための数学的な基礎知識と，コンピュータの基礎と応用について学びます。少人数の演習によってこれらの専門分野のいずれかをさらに深く学習します。最後に，大学院への進学を奨めるために，学部4年生を対象に大学院開講科目の一部を「学部特別専門科目」として学部に開放しています。ここで修得した単位は，大学院に進学した場合は，大学院の単位として認められます。

❸ アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

◆求める学生像

経済学部経済工学科では，最先端の内容を含む経済理論，数量，情報科学の方法を活用して分析を進め，これらの結果を評価し，社会，経済における政策や戦略に応用，実践できる人材の育成を目指している。このため経済学の勉学の土台となる国語力，社会に関する一般的基礎知識，数学（微積分，確率・統計，行列などは大学で経済学を学ぶ際，特に重要であるが，受験のためには所定の数学を満遍なく学習する必要がある）をはじめとする数理的知識，また，現代社会に対する多様な関心，好奇心を持つ学生の受け入れを重視する。

◆求める学生像と学力３要素との関連

❶知識・技能：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。

❷思考力・判断力・表現力等の能力：多面的に考え，客観的に批判し，自分の言葉で人に伝える資質。

❸主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度：現代社会に対する多様な関心，好奇心。多様性を尊重する態度，異なる考えに共感する寛容性。常に自らを向上させようとする意欲。

◆入学者選抜方法

	1. 知識・技能	2. 思考力・判断力・表現力等の能力	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	調査書
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	小論文	志望理由書 調査書

理学部
School of Science

九州大学理学部は，1939年の創立以来常に中核的な一大拠点として理学の教育・研究に携わっています。理学部では，世界最先端の研究が行われており，21世紀 COE に採択された研究分野「統合生命科学」,「機能数理学の構築と展開」やノーベル賞が期待される研究分野が存在します。生物学の進化生物学，生態学，分子生物学，行動生物学，数学の作用素環論，確率論，微分方程式論，地球惑星科学の隕石惑星圏科学，プラズマ圏科学，宇宙天気予報，化学の錯体化学，有機合成化学，触媒化学，物理学の物性理論・物性実験，素粒子・原子核・宇宙物理学，情報科学の計算論的学習理論などは世界的に高い評価を得ています。

理学部では，4年間を一貫させたカリキュラムに基づき，研究の最前線で活躍する多くの研究者による教育により，高度な課題発見能力と問題解決能力をもち，独創的な思考のできる人材を育成します。

【物理学科】

❶ 教育理念

教育理念・目標，育成する人材像

物理学とは「物質はどのようにして生まれたか，どのような性質を持つか，どのような法則にしたがっているか」を探究する学問です。極微小な素粒子の世界から，我々身の回りの物質，そして広大な宇宙にいたる様々な階層の自然の中にひそんでいる，基本的な法則を明らかにしようとする営みともいえます。又近年，物理学は情報の発生，伝達も研究対象としています。

物理学を研究してきた先輩達はそれまでの法則では説明できない不思議な現象に出会った時に，その法則の生い立ちにまで立ち戻り深く考え直してきました。そしてより普遍的な法則を発見し，現象の説明に成功してきました。

物理学科の教育目標はまず物理の基本法則を充分に習得することです。仮に常識では説明できないと思える現象に遭遇した場合でも，物理学の基本法則を駆使し，考え直すことの出来る力を身につけることです。

物理学は応用を目的とする学問ではありませんが，人類の歴史において物理学の基本法則がもたらした発明や新製品は社会や産業を大いに発展させてきました。

このように，物事を基本法則から考え直すことは，基礎科学研究に限らず，新しい製品を作り出したり，システムを構築する際にも大変重要なことです。最近，企業でも研究開発を重視し，基礎から物事を考える物理卒業生への期待と求人が増えています。

❷ 教育プログラム

教育課程の特色・内容

物理学科には物理学コースと情報理学コースがあり，2年次からは学生の志望と成績によっていずれかのコースに配属されます。物理学コースでは物理学そのものを体系的に学習し，情報理学コースでは情報の分析・処理・演繹などを学習します。物理学コースと情報理学コースの人数比は約4：1です。

いずれのコースでも3年次までは基礎的な科目を履修します。多くの演習を通じて講義内容の理解を深めると同時に，実験・実習により原理の基礎となっている現象に触れながら現象を調べる手法を身につけていきます。4年次では，専門的な科目の履修を通じて最先端研究の方法や到達点・問題点を把握するとともに，希望する研究室に所属して研究現場の雰囲気にふれながらそれぞれの研究テーマを遂行します。

教育指導体制

物理学コースの講義は素粒子・原子核の理論と実験，宇宙物理，物性・統計理論，固体・液体・ソフトマター実験等の広い物理学分野をカバーする教員が担当します。情報理学コースの講義は主として数理情報学，知能科学，計算科学の教員が担当します。演習や実験では教員のほかに大学院生のティーチングアシスタントが一緒に指導を行います。4年次にはそれぞれの研究室で教員，上級生の指導の元で特別研究を行います。

卒業要件および成績評価

成績評価は期末試験，レポート，出席状況を基に行います。卒業のためには1年次までの基幹教育科目や専攻教育科目などからそれぞれ決められた単位数を修得することが必要です。

❸ アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

◆求める学生像

物理学科では，大学での物理学・情報理学の学習に必要な基礎学力を備え，大学での講義を理解し，情報収集やレポート作成・発表ができる国語力，基本的な英語力，さらに，物事の背景にある普遍的な法則を積極的に調べようとする探究心を持つ人を求めています。

◆求める学生像と学力３要素との関連

❶**知識・技能**：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。特に，大学での物理学・情報理学の学習に必要な物理・数学などの理系科目の充分な素養と基本的な英語力。

❷**思考力・判断力・表現力等の能力**：大学での講義を理解し，情報収集やレポート作成・発表ができる国語力。多面的に考え，客観的に批判し，自分の言葉で人に伝える資質。

❸**主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度**：さまざまな自然現象の背景にある普遍的な法則への関心。多様性を尊重する態度，異なる考えに共感する寛容性。教員・先輩・友人に質問し，議論する積極性。

◆入学者選抜方法との関係

	1. 知識・技能	2. 思考力・判断力・表現力等の能力	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜（前期）（国際理学コース）	大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	調査書
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	面接	調査書 面接
総合型選抜	大学入学共通テスト 課題探究試験	課題探究試験 個人面接	調査書，志望理由書 個人面接

【化学科】

❶ 教育理念

全ての物質が原子，分子，イオン，高分子といった化学的要素からなり，さらに，それら物質群がアボガドロ数を単位とする集合系として振る舞うことにより，様々な物質系を与え，各種の現象をもたらしています。生命現象はその究極のモデルであり，依然その高度な構造体や現象に対する理解を探求すべき段階にあります。理学における化学は，これらの自然現象，地球環境，宇宙などに潜む普遍的真理について探究し，実験と理論の両側面からその原理を解明することのできる学問です。化学科では，21世紀の社会に積極的かつ能動的に貢献することのできる目的意識と高度な専門的知識と技能を備えた次世代リーダーの育成を目指し，研究と教育に取り組んでいます。

❷ 教育プログラム

教育課程の内容・特色

1年生は，基幹教育科目を中心に履修することにより，化学を深く学ぶために必要となる数学，物理，外国語などの基礎学力を養うとともに，俯瞰力をもつために必要な一般教養を身につけ，広い視野を持てるよう導きます。また，専攻教育科目として1年次から無機化学や有機化学の講義が始まります。

2年生からは，化学を中心とした専攻教育科目の履修が本格的に始まります。具体的には，3年生後期までの2年間に，午前中は無機化学，有機化学，物理化学，量子化学，分析化学，生物化学などの講義を履修し，午後は学生実験を中心に履修します。これらの講義や実験では，無機化合物，有機化合物，高分子化合物，生体物質など広範囲の物質群を取り扱い，それらの構造と性質，ならびに反応生や合成法について学びます。化学的見地から物質の成り立ちや性質について究明するだけでなく，社会が求める環境やエネルギー問題に対応

できる基礎知識の習得をめざします。これらの専攻教育と並行して，外国語や自分が勉強したいいくつかの基幹教育科目を履修し，教養をさらに高めることができます。

３年生後期終了時に所定の化学実験（すべて必修）と専攻教育科目（すべて選択）の単位を修得することができれば，４年次に化学科あるいは化学科と協力関係のある研究室のいずれかに所属し，卒業研究を行います。本化学科には多様な研究室が配置されており，自身の興味ある研究分野に所属し，マンツーマンの研究指導を受けることができます。研究室配属の目的は，国際的に高い評価を獲得する最先端の研究にふれ，その分野の専門知識を体得することにあります。また，学術論文の読解力，研究成果について討論したり，発表する能力を育むことも重視します。一方，自然科学一般の原理や現象に対する理解力・洞察力を養うことにも力点がおかれ，４年次を終了し卒業すると，研究能力の向上を目指し，大部分の学生が大学院に進学します。

教育指導体制

基幹教育科目については，九州大学に所属する各専門の教員が担当します。化学科の専攻教育科目については，大学院理学研究院化学部門に所属する教員が担当します。講義科目は教授・准教授・講師が担当します。実験については担当する研究室の全教員で対応し，准教授・講師・助教と大学院生（ティーチングアシスタント）がほぼマンツーマンで教育にあたるとともに，教授が適時サポートします。学問の性質上，化学実験には危険が伴いますが，安全に実験が遂行できる人材を育成することも教育目標の一つと言えます。

研究室配属後は，教授・准教授・講師・助教がマンツーマンで研究指導に当たります。また，所属の大学院生が先輩として良き相談相手となり，研究室全体で研究活動を行っています。個々人の独創性を養うことも重視すべき点となります。

❸ アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

◆求める学生像

化学科では，将来，化学研究者，高度な化学の専門知識をもつ技術者に成長することを志す，意欲的な学生を求めています。また，高度な化学知識や思考を生かせる職業に携わり，日本の中核的，かつ指導的役割を担うことを目指す学生を求めています。それゆえ，十分な基礎学力を持つとともに，化学の勉学に熱意をもち，創造性豊かな学生を求めています。現代の化学は，物理学，生物学，地学，数学など他の多くの学問に支えられ，かつ互いに影響を与えています。化学を学び，深く理解するためには，これら関連する学問領域を広く理解することも重要となります。大学の授業の堅固な基礎となる高等学校での幅広い学習を望んでいます。

◆求める学生像と学力３要素との関連

❶知識・技能：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。特に，大学での化学の学習に必要な化学・物理などの理系科目の充分な素養と基本的な英語力。

❷思考力・判断力・表現力等の能力：大学での講義を理解し，情報収集やレポート作成・発表ができる国語力。多面的に考え，客観的に批判し，自分の言葉で人に伝える資質。

❸主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度：将来，化学研究者や高度な化学の専門知識をもつ技術者，あるいは高度な化学知識や思考を生かせる職業に携わり，日本の中核的，かつ指導的役割を担うことへの関心。多様性を尊重する態度，異なる考えに共感する寛容性。教員・先輩・友人に質問し，議論する積極性。

◆入学者選抜方法との関係

	1. 知識・技能	2. 思考力・判断力・表現力等の能力	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜（前期）（国際理学コース）	大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	調査書
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト 化学に特化した個別学力試験	化学に特化した個別学力試験	調査書
総合型選抜	調査書 大学入学共通テスト	個人面接	調査書，志望理由書 個人面接

【地球惑星科学科】

❶ 教育理念

教育理念・目標，育成する人材像

これまでの科学は，自然を支配する基本法則を解明して来ました。しかし，我々が実際に見る気象・地震・火山・オーロラなどの諸現象は複雑で，基本法則だけではなかなか理解出来ないのも事実です。地球惑星科学は，基礎科学の知識と最新のテクノロジーを組み合わせて，地球や惑星で起こるこれらの複雑な現象を明らかにしていく学問分野です。

地球惑星科学ではまず実際の自然を自分の目で観察します。次に IT 技術を駆使した精密観測，世界同時観測，衛星観測など，より進んだ観測を行うと共に，超精密物質分析，室内実験なども行い，地球とそれを構成する物質をよく知ることを目指します。またスーパーコンピューターを用いて複雑な自然の事象をそのまま計算機の中に再現することに挑戦します。

これらの教育を通じ，基礎科学全般を身につけると同時に，複雑な自然を観察・解明する能力を養い，21世紀の科学・技術・社会を担う人材や，地球環境の変動，自然災害などの予測を行う専門家を育成します。

❷ 教育プログラム

教育課程の特色・内容

地球惑星のさまざまな自然現象の理解には，広範囲の基礎知識を必要とします。そのため，まず地球惑星科学の考え方の基礎と，その基盤としての数学・物理学・化学・地学・生物学を学びます。

次に地球惑星科学全般の講義を通じて専門分野の導入知識を習得すると同時に，実験・実習・演習によって実験技術，分析技術，解析技術，計算技術を身につけます。

特別研究では，各研究室に配属され，個別のテーマを選びます。その研究に必要な基礎を学び，研究を実際に体験し，発表や論文作成をします。

教育指導体制

太陽系惑星，電磁圏・惑星プラズマ，大気・海洋，地球表層および内部と広範囲に広がる地球惑星領域の中で，地球と太陽系の起源と進化，宇宙圏・流体圏の構造や循環，固体地球内部と地表の構造・その形成過程・そこでの物質循環，生命の発生と進化，地球惑星環境の過去・現在・未来などを研究する教員が講義を担当します。また実験・実習・演習では最新の設備が使われると共に，大学院生のティーチングアシスタントによる指導も行われます。

科目履修

履修する科目は大きく分けて基幹教育科目 (全学で共通に行われる科目) と専攻教育科目からなります。基幹教育科目は入学後，最初の1年におもに履修しますが，一部は高年次に履修します。専攻教育科目はおもに2年次以降に履修します。専攻教育科目には地球惑星科学に関する科目と，地球惑星科学の基礎になる物理，化学，数学などの科目があり，講義，実験，実習，演習などさまざまな形態での教育が行われます。3年次後半には各研究分野に配属されて特別研究を行います。

理学部
School of Science

③ アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

◆求める学生像

高校数学および高校理科の基本事項を理解し，大学での講義の理解，文献の読解，レポートの作成，研究発表などのための国語力を十分備えている学生を求めています。また専門文献の読解や，将来，国際的な場で活躍するためにも必要な高校英語の十分な学力を備えた学生を求めています。研究者，技術者，教育者として日本ばかりではなく世界で活躍するために，十分な基礎学力だけでなく，地球惑星科学の勉学に対する熱意，自然現象への探求心をもった創造性豊かな学生を求めています。

◆求める学生像と学力３要素との関連

❶知識・技能：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。特に，大学での広い分野の学習に必要な理科・数学などの理系科目の充分な素養と基本的な英語力。

❷思考力・判断力・表現力等の能力：大学での講義を理解し，情報収集やレポート作成・発表ができる国語力。多面的に考え，客観的に批判し，自分の言葉で人に伝える資質。

❸主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度：地球惑星科学の諸現象への関心。多様性を尊重する態度，異なる考えに共感する寛容性。教員・先輩・友人に質問し，議論する積極性。

◆入学者選抜方法との関係

	1. 知識・技能	2. 思考力・判断力・表現力等の能力	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜（前期）（国際理学コース）	大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	調査書
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	面接	調査書 面接
総合型選抜	大学入学共通テスト 小論文	小論文 個人面接	調査書，志望理由書 個人面接

【数学科】

① 教育理念

教育理念・目標，育成する人材等

人類が獲得した知的財産の根源をなすものは言葉であり，数と形の認識及びその表現，運用能力です。数と形が織りなす様々な構造の研究と，そこから生まれる数学的なものの考え方は古くより文化の発展と人類の繁栄を支えてきました。とりわけ，近代以降の科学技術の進歩は数学なくしては考えられません。また今もなお，新しい数学の研究が盛んに行われ，知の世界の新たな構築に大きく貢献しています。しかも，社会における数学的思考，知識の必要性は増加する一方です。情報化と国際化がますます進む現代にあっては，数学を学ぶことを通して得られる論理的な考え方や，普遍的で自由なものの見方が強く求められています。

理学部数学科では，豊かな創造性に富んだ現代数学の概念や方法の基礎を修得させ，数学の先端研究をめざす者や教育者，数学の力を基盤として活躍できる技術者など，多様な分野で指導的な役割を果たす人材を育成したいと考えています。

② 教育プログラム

教育課程の特色・内容

わが国における数学教育研究を担う中核機関のひとつとして，1994年に数学の独立大学院である数理学研究科（のちの数理学研究院）が，2011年にはマス・フォア・インダストリ研究所が発足しました。数学科の教育は，この数理学研究院，マス・フォア・インダストリ研究所及び基幹教育院に所属する約70名の教員が担当しています。本学科では，純粋な知的好奇心を原動力とする数学研究から，社会に役立つ数学研究まで，最前線の幅広い研究成果を垣間見ながら，高校数学では触れられない数学の抽象的な考え方や厳密な理論構成を学び，現代数学の基礎知識を身につけるとともに，その美しさを味わうことができます。現代社会を支える計算機の発達は数学を基礎としたものです。数学の基礎理論のみならず，計算機を背景とする数学の科学技術への応用の一端に接することができるのも本学科の大きな特色です。このような，純粋理論から科学や技術への応用までを視野におき，調和のとれた数学の教育・研究を行っているのはわが国では本学科・数理学研究院をおいてはありません。

③ アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

◆求める学生像

数学の素養と基本的な国語力を備え，数学における論理的思考力や表現力を身につけるために必要な素質を持つ学生を求める。主体的に学ぶ学生が望ましい。

◆求める学生像と学力３要素との関連

❶知識・技能：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される幅広い知識と技能。特に，数学の素養と基本的な国語力。

❷思考力・判断力・表現力等の能力：高等学校等における学習を通して獲得される思考力・判断力・表現力。特に，論理的な思考力とそれを表現する力。

❸主体性・多様性・協働性：数理科学への関心があり，主体的に学ぶ学生が望ましい。

◆入学者選抜方法との関係

	1. 知識・技能	2. 思考力・判断力・表現力等の能力	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜（前期）（国際理学コース）	大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査（論述）	個別学力検査（論述） 調査書
総合型選抜	大学入学共通テスト 課題探究試験	課題探究試験（論述） 個人面接	調査書，志望理由書 個人面接

【生物学科】

① 教育理念

教育理念・教育目標，育成する人材像等

生物学は多様な生命現象を，生体を構成する分子のレベル，個々の細胞や個体のレベル，生物の集団のレベルで解明しようとする学問研究分野です。生物学の研究は，ワトソンとクリックにより1953年にDNAの構造が明らかにされたことを転機に，飛躍的に進展しています。現在では，いわゆる，分子遺伝学はさまざまな生命現象の基礎となると同時に，その研究過程で開発された研究方法は生命現象の解析の有力な手段になりました。1個の受精卵が分裂を繰り返し，体の正確な場所に手足・眼・脳・内臓を形造る過程は神秘的にさえ思えるものでしたが，この発生現象も最近の遺伝子レベル，細胞レベルの研究で徐々に明らかになりつつあります。さらに，動植物の集団が形成している社会のしくみや働きも，ゲノム生物学の手法，数理モデル等の導入で研究分野が大きく拡大しています。旧来の生物学には応用科学的な側面は限られていましたが，近年の生物学はクローン技術に代表される新たなバイオテクノロジーの進展，生物の多様性と地球規模の環境問題などを通して社会や産業と密接に関わるようになりました。

生物学科では，基礎生物学の研究者を養成するだけでなく，将来，高度な生物科学の知識や思考を生かせる職業に携わり，中核的，指導的な役割を担うことができる人材の養成，さらには他の学問との境界領域や学際的分野での研究，医療，公衆衛生，食料生産，エネルギー資源開発，生物多様性の保全，環境修復などの応用分野で活躍できる人材の養成も目指しています。

② 教育プログラム

教育課程の特色・内容

生物学科は生物学の幅広い領域をカバーする13の研究室を擁し，学問分野の急速な進展に対応できる教育・研究システムを確立させています。各研究室の主な教育・研究内容は次の通りです。

行動神経科学研究室……動物の行動を司る高次脳機能の神経機構
染色体機能学研究室……真核生物の染色体複製，機能発現
動物発生学研究室……脊椎動物の発生，生殖細胞の制御機構
植物生理学研究室……植物の環境適応の分子機構
生態科学研究室……動植物の生態・進化・保全
分子遺伝学研究室……行動，神経系での情報処理，ホメオスタシスの分子機構
生体高分子学研究室……酵素やタンパク質分子のかたちと生理機能の相関
代謝生理学研究室……生体膜の構築原理の解明，細胞接着に関する細胞生物学
進化遺伝学研究室……遺伝的多様性の維持機構，分子進化の機構
数理生物学研究室……生物の形づくりや進化，種の共存
植物多様性ゲノム学研究室……多様な植物のゲノム情報に基づいた重要形質の決定機構
細胞機能学研究室……行動生理，細胞増殖，細胞内物流，および生物物理の研究
海洋生物学研究室……海産動物の個体群および群集生態学

教育指導体制

入学後3年間は生物学科を基本とした学級に所属し，それぞれの関心，興味に応じた科目選択を取り入れた教育指導を受けます。最初の1年で人文・社会・自然科学・外国語等の基礎科目を学びます。

各学年にはそれぞれ学年担当の教員が配置され，学生の質問や相談に応じる体制となっています。最終学年（第4年次）では，各学生は，生物学科内のいずれかの研究室に配属となり，一年間を通してその研究室の一員としてマンツーマンの指導を受け，卒業研究や演習を行います。

卒業要件および成績評価

基幹教育科目及び専攻教育科目から，それぞれ決められた単位数を修得することが必要です。このうち，最終学年で研究室配属後に履修する特別研究（卒業研究）と生物学演習が必修科目です。成績評価は科目によっていろいろですが，出席状況や最終試験，レポート，研究態度，研究成果等によって行われます。

③ アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

◆求める学生像

生物学科では，分子，細胞，個体，集団等の各階層における生物の営みとその根底にあるメカニズムに強い興味を持ち，生物の勉学，研究に熱意をもつ創造性豊かな学生を求めている。生物学分野において科学の真理の追究をめざす意欲があることを重視する。本学科志望者には，高校において理系科目（数学，理科〔生物のほか，化学，物理，地学〕）を学び，論理的思考力を身に付けるようにすること，および自然科学の基礎知識を修得しておくことはもちろんのこと，文系科目（国語，英語，社会）も幅広く履修し，筋道の立った文章が書けることなどが望まれる。

◆求める学生像と学力３要素との関連

❶知識・技能：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。特に，大学での生物学の学習に必要な理系科目の基礎知識と論理的な思考力及び，基礎的な英語力を有する学生。
❷思考力・判断力・表現力等の能力：知識や実験結果・観察を基に多面的に考え，客観的に批判し，自分の言葉で相手に伝わるように表現できる学生。
❸主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度：生命現象に関する強い関心と意欲を有する学生。国籍，世代，考え方の違いに関わらず，教員，先輩，友人に積極的に議論し，問題解決にあたることのできる学生。

◆入学者選抜方法との関係

	1. 知識・技能	2. 思考力・判断力・表現力等の能力	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜（前期）（国際理学コース）	大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	調査書
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト	大学入学共通テスト 面接	調査書 面接
総合型選抜	大学入学共通テスト	大学入学共通テスト 面接	調査書，志望理由書 面接

【国際理学コース（各学科共通）】

① 教育理念

教育理念・目標，育成する人材等

「理学」すなわち基礎自然科学は，自然界にひそむ普遍的真理を探究し，自然哲学の基盤を構築することを目的とし，人類の自然に対する純粋で飽くなき知的好奇心をその原動力とする最高レベルの知的活動のひとつです。理学は，長い歴史の中で，数学，物理学，化学，生物学，地球惑星科学などの分野に分かれ発展してきました。国際理学コースでは，これらの学問分野の一つ，または，複数に深い専門知識とその運用能力を有し，それを基に研究，技術開発，高等教育などの分野において将来活用できる能力を身につけるとともに，科学における事実上の国際語である英語の十分な運用能力と英語による情報の受信・成果の発信・科学的議論の能力を身につけます。これらの科学的能力，言語能力を基に，自らの科学的成果を広く世界に発信し，研究・開発・教育の場で，国際的に活躍できる人材，リーダーシップを発揮できる人材を育成します。

② 教育プログラム

教育課程の特色・内容

国際理学コースは，これまで理学部が確立してきた物理学，化学，地球惑星科学，数学，生物学の各学科の教育システムを基にこれらの一定割合を科学における事実上の国際語である英語を含めて行うとともに，国際科学特論等の国際人養成を目的とした科目を新たに導入することによって教育の国際化を行います。また，国際理学コースでは，一つの学問分野を深く掘り下げると同時に，複数学問分野を修得できる学際的な教育課程としています。これらにより，国際理学コースの目的である，研究・開発・教育の場で，国際的に活躍できる人材，リーダーシップを発揮できる人材を育成します。

③ アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

◆求める学生像

国際理学コースでは，理学部に共通のアドミッションポリシー
・自然や論理に対する強い興味を持つこと
・それらを学び追求する意欲の高いこと
・論理的思考の能力と創造力を持つこと
・本学部の教育を受けるための基礎学力をもつこと
に加えて
・数学，物理学，化学，生物学，地球惑星科学のいずれかに強い興味と学ぼうとする熱意をもつこと
・自然科学のみならず，広く，人文科学，社会科学にも関心をもつこと
・自然科学を研究・開発・教育の国際的な場で活かす強い意志を持つこと
・高校英語の十分な基礎学力を持つこと
を入学を希望する学生に求めます。

◆入学者選抜方法

国際理学コースの入学者選抜は，一般選抜（前期日程）を利用し，一般選抜（前期日程）の各学科の合格者で国際理学コースへの入学を希望する者の中から，成績上位者（各学科最大2名）を選抜する。このため，国際理学コースに合格するために独自の受験準備をする必要はない。国際理学コースへの出願を希望する場合は，インターネットによる一般選抜（前期日程）出願の際に，「国際理学コースに出願する」を選択すること。

医学部
School of Medicine

【医学科】

21世紀の医学は，遺伝子治療や再生医学・医療など重要で魅力あふれる分野が多くあります。医学部医学科においても，高度先端医療の研究と実施にむけて，これまでの伝統を基盤にして，独創性に富んだ国際的視野をもつ医学者の養成を行っています。それと同時に，臨床の場では診療行為の実力とともに人間味あふれ，社会性に富んだ医師の育成を目指しています。そのために，人の生命に興味をもち，その研究に情熱を燃やし，積極性と活力をもって医学に取り組むことができる学生を歓迎します。

❶ 教育理念

教育理念・目標，育成する人材像等

医学部医学科は，医学に関する知識・技術の教育を基盤にし，医の倫理に徹し，旺盛な探求心を有する医師および医科学研究者を育成することを目的としています。創始以来約100年の伝統に培われた医学科の教育・研究の成果として，世界の医学界に誇る数多くの研究業績があります。またその名声により遠近を問わず広く一般患者に利用されている大学病院は，より高度な医療と社会福祉の実現に向かって全力をはらっています。医師・医学者には自然科学者としての適性が求められる一方，病気と闘う患者さんに寄り添うよき援助者であることも求められます。さらに医師の判断は患者さんの人生に大きな影響を与える可能性があります。医学部医学科での教育・研究は，専門性の修得ばかりではなく，広く深く人間についての洞察を重ねることへとつながるものです。

「人の健康と福祉の増進」という医学の使命を達成するための多様な人材を育成することが目的です。

❷ 教育プログラム

教育課程の特色・内容

最近のめざましい医学の進歩にともない，医学教育の内容が必然的に大きく変わり，また，同時に学習すべき内容が年とともに膨大な量になっています。これに対応するため，本学部ではより低学年から臨床医学の授業を開始し，学生教育に対しても非常に力を入れています。一方で，平成16年度から医歯薬統合教育の試みも始まりました。

実際の学部教育は以下のような教育プログラムに沿って行っています。低年次開講の医学入門では医学生としての自覚を芽生えさせるために病院等における医療・介護施設の体験実習を実施しています。その後，医学の基盤となる生物学および人体の構造の概略を学びます。2年次では，解剖学，生理学，生化学など生命の恒常性を保つ仕組みを勉強します。さらに，種々の病気を理解するための基礎となる疾病基礎医学の講義と実習が始まり，3年の前期まで続きます。この他に1年次を中心に基幹教育科目を履修します。これは九州大学の他の学部の学生達とも共通した教養並びに基礎力を身につけるためのもので，幅広い人間味あふれる医師の養成のために必要不可欠な教育プログラムです。平成19年度入学生から，この3年前期までは，医学部生命科学科（別掲）との合同授業で，将来医学を担う学生間の交流を図っています。

3年後期から4年前期にかけて臨床医学の知識を学ぶ講義が行われ，病気の原因，診断，治療法などを勉強します。4年後期からは基本的な臨床技能を修得する実習が始まり，患者さんとのコミュニケーションの取り方，病歴の聴取，基本的診察法などを学びます。同時に社会医学の講義も始まります。5, 6年生では，臨床実習が行われますが，その前に医学生として病院を受診する患者さんを指導医と一緒に診る知識と技能がきちんと備わっているかどうかを評価するための共用試験を受験します。共用試験は知識を評価する筆記試験と技能を評価する実技試験からなります。

5，6年生の臨床実習では主に九大病院の各臨床診療科に1週間から4週間配置され，指導教員の指導の下で，実際に患者さんを診察し病気を学んで行くものです。特に6年次では，医師としての仕上げを行うために，引き続き選択制の研究室配属や臨床実習があります。このプログラムではそれぞれ与えられた研究テーマに沿って基礎あるいは臨床の場で進められている研究の実際を勉強します。あるいは，学内の診療科や学外や海外の病院を4週間ずつ選択し，5年生の時よりさらに実践的な臨床医学を学びます。その後，社会医学を再び勉強します。卒業試験に合格すると医学部卒業の要件を満たします。4年生終了時に臨床実習を選ばず，大学院博士課程の1年次への編入を選択することも可能です。これは別名 MD-PhD コースとも言われ，一足先に研究者への道を踏み出すことを希望する学生向けに設けられています。

平成16年度から，医師として働くためには2年間の臨床研修を受けることが義務化されました。プライマリケアを中心に幅広く医師として必要な診療能力を身につけ，人格を涵養する研修であることが求められています。九州大学病院は関連施設と協力して，しっかりとした研修教育体制を整備しており，学生臨床教育においても，医療の幅広い視点が身につけられるような教育を行っています。

教育指導体制

医学部の使命は，社会に役立つ立派な医師の育成，人間の生命現象に関係し，人類の健康と幸せの為に役立つ研究，それに加えて最先端の技術と知識を使って癌，エイズなどの難病の診断と治療を行うことにあります。そのために教務委員会で，常にカリキュラムの問題点を見直しながら，時代に即した教育を目指しています。平成16年度から学生の自学自習を支援するためにコンピュータサーバー上に教材を掲示する Web 学習システムを導入しています。また，他学部との複合領域の研究，例えば医工連携の学習の機会もあります。

平成13年3月の医学・医療の在り方に関する調査研究協力者会議報告として「21世紀における医学・歯学教育の改善方策について」がまとめられ，医学教育のために精選された統合型の医学教育モデル・コア・カリキュラムが提唱されました。このモデル・コア・カリキュラムは，医学教育の根幹となるべき部分を提唱したものであり，本学科ではこのカリキュラム，特に臨床前教育の章を参考にしながらも，九州大学独自の特徴を持つ医学教育を進めています。

生命倫理に関する教育は，生命，特に人の生命を直接対象とする医学研究者，医療人の育成において不可欠のものです。生命倫理に関する基本的・普遍的な考え方を体系的に学べるようカリキュラムを編成しています。

❸ アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

◆求める学生像

医学科では以下の学生を求める。医師の仕事は，非常に幅広く，基礎の研究者から臨床医まで選択肢も多い中で，最も大切なことは弱い立場の患者さんの味方となり，病気に苦しんでいる患者さんを助けることである。単に受験学力が高いから医学部に入学するのではなく，医師としてあるいは医科学分野の研究者として活躍するに十分な能力と素質をもち，明確な目的意識をもった学生を望んでいる。人間で最も大切なことは，「生きがいを持ち人間らしく生きること」である。命に直接関係するような病気を持っている患者さんは，ややもすると，この「生きがい」をなくし，生きる喜び，生きる目標を失っている。このような人達に優しい救いの手をさしのべることができる人間味あふれる学生を求めている。

◆求める学生像と学力３要素との関連

①知識・技能：高等学校などにおける基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。加えて，医学・医療における知識・技能の習得ができる基礎的な能力。

②思考力・判断力・表現力などの能力：多面的に考え，客観的に批判し，自分の言葉で人に伝える資質。医学知識を習得し，臨床に応用するために努力を惜しまない姿勢。

③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度：医師としてあるいは医科学分野の研究者として活躍することへの強い関心，多様性を尊重する態度，異なる考えに共感する姿勢。多職種と協働して医療を提供しようという意欲。患者・家族から求められている医療を真摯に提供しようとする意欲。新しい医学を創造・発展しようとする意欲。

◆入学者選抜方法

	1. 知識・技能	2. 思考力・判断力・表現力等の能力	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査 個別面接	調査書 志望理由書 個別面接

【生命科学科】

医学部生命科学科では，ヒトならびに様々なモデル動物を対象とした次世代の生命医科学研究と医学教育を担う人材を育成し，世界に向けて輩出することを目標としています。そのために，本学科では多様な生命活動とその分子メカニズムに興味を持ち，未知の領域を探求する旺盛な好奇心と柔軟な思考力をもつ学生を歓迎します。同時に，国際的に活躍するには高い語学力が求められます。研究のみならず語学力の向上に向け，意欲的に取り組む学生を歓迎します。

① 教育理念

教育理念（教育理念・目標，育成する人材等）

医学部生命科学科に入学した学生は，生物学と医学の幅広い基礎的知識を修得することが求められます。その後に，生命医科学の最新の知識の修得を可能とするプログラムが準備されています。このような教育プログラムによって「幅広い知識と高度な専門的能力を備えた人材」，「課題発掘ならびに問題解決能力を備えた人材」，「生命医科学の研究分野でリーダーシップを発揮できる人材」，「国際的視野に立ち基礎医学教育を担う人材」を育成したいと考えています。

② 教育プログラム

教育プログラムの特色・内容

生命科学科では，2年次において生物学や医学の基礎知識を修得するとともに，種々の実習科目において基本的な実験操作を修得します。さらに，高年次においては分子細胞生物学，高次機能制御学，生体情報科学，臨床医学等の講義 (下記を参照のこと) を通じ，最新の研究に関する知識を修得します。また，3年次の早期研究室体験ならびに4年次の卒業論文研究では，希望する研究室に在籍し，教員の指導のもとに研究を開始します。卒業論文研究では，学生一人ひとりにテーマを設定し，卒業論文を作成しますが，この過程で研究を行う上で必要な基礎的能力を身につけます。

国際的に活躍する人材を養成するためには，高い英語力が不可欠です。そこで，英語教育を重視したカリキュラムを準備しています。英語論文の読解だけでなく，コミュニケーション能力の修得に向け，外国人教員による講義を行います。

1. 分子細胞生物学：生化学，細胞生物学，ゲノム医科学，構造生物学，微生物学
2. 高次機能制御学：免疫学，分子薬理学，脳・神経機能学，分子病理学，予防医学，分子疫学，発生再生医学，遺伝子・細胞療法学
3. 生体情報科学：情報生物学，遺伝情報解析学
4. 臨床医学：脳神経・運動器概論，循環器概論，呼吸器・造血器概論，腎・泌尿生殖器概論，周産期・成長発達医学概論，アレルギー・膠原病・感染症概論，消化器概論，心医学・精神医学概論，内分泌・代謝・老化概論，感覚器・皮膚概論

教育指導体制

生命科学科ならびに医学科教員が本学科の教育プログラム全般を担当します。また，必要に応じて学内の他学部の教員や他大学の教員が本学科の教育に参加します。各学年には担任を置き，個々の学生からの相談に対応します。

③ アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

◆求める学生像

生命科学科では以下の学生を求める。ヒトを含む様々な生物の生命現象に興味を持ち，生命医科学関連領域の勉学と研究に情熱をもって臨む志の高い学生を求める。本学科では将来の生命医科学研究と医学教育を担う多数の人材を輩出するため，基礎的講義を土台に最先端の生命医科学研究を行うまでの教育プログラムを準備している。このような講義ならびに研究内容を理解するには，高校において理系科目（数学，理科〔生物，化学，物理〕）の履修を通じ，自然科学の基礎知識を習得するとともに，文系科目（国語，英語，社会）も幅広く履修することが望まれる。また，論理的な思考に基づいて，口頭および文章で論理的な説明を行う能力を備えていることが望まれる。

◆求める学生像と学力３要素との関連

①知識・技能：高等学校などにおける基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。加えて，生命医科学研究における知識・技能の習得ができる基礎的な能力。

②思考力・判断力・表現力などの能力：論理的・多面的に考え，客観的に批判し，自分の言葉で人に伝える資質。生命医科学に関する知識を習得し，研究に応用するための努力を惜しまない姿勢。

③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度：ヒトおよびヒトに関係する生物が示す生命現象への興味，基礎医学研究への興味，多様性を尊重する態度，異なる考えに共感する姿勢。周囲と協調して生命医科学研究を創造・発展しようとする意欲。

◆入学者選抜方法

	1. 知識・技能	2. 思考力・判断力・表現力等の能力	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査 個別面接	調査書 個別面接

【保健学科】

九州大学医学部保健学科では，保健学分野の将来を担う高度な実践者，教育者・研究者へと発展する優れた医療人を育成することを目標としています。

① 教育理念

教育理念・目標，育成する人材像等

九州大学医学部保健学科は，広い見識と深い人間理解を基盤とし，人の健康と幸せに貢献する人材を育成することを教育理念としています。このためには豊かな人間性の涵養に努めるとともに，社会の変化により生じる保健・医療・福祉への新たな要請にも応えうる知識と実践能力の涵養が重視されます。また，保健学分野の将来を担う高度な実践者，教育者，研究者へと発展する優れた医療人を育成します。この目的を実現するために，「豊かな人間性を備えた人材の育成」，「高度化する医療に対応できる人材の育成」，「全人的チーム医療に対応する人材の育成」，「高齢社会の医療に対応した人材の育成」，「多文化共生社会における国際医療の場で活躍できる人材の育成」，「医療の情報化に対応する人材の育成」，「教育者，研究者へと発展可能な人材の育成」などを目標にしています。

② 教育プログラム

教育課程の特色・内容

看護学専攻では，病む人だけではなく全ての人々の健康を支援するため，人間の尊厳を理解し，看護の知識と技術，科学的判断力と創造的思考を修得することにより，専門的知識と実践力を有する看護師，保健師を養成します。さらにグローバル化を目指した国際交流によって，国際的に活躍できる医療人を育成します。具体的には医療に関する専門知識とともに，看護実践に直結する看護技術，看護過程，看護倫理等を教育するとともに，看護の対象である出生前から，小児期，青年期，成人期，老年期に至る人々の特性や健康レベルに応じた看護ケア，医療機関・保健福祉施設，訪問看護ステーションなどの様々な場における看護実践方法について教育します。加えて，看護職のリーダーとなれる素養の一つとして，看護研究能力の育成にも力を入れています。

放射線技術科学専攻では，まず，医療系基礎教育として，解剖学，生理学，

医学部
School of Medicine

生化学などを教育し，専門科目に進む前の基礎的な知識を学びます。つぎに専門教育として，放射線や電磁波並びに磁気の特性や計測法，人体におよぼす影響とその安全管理，医用画像機器の原理・特性及び画像情報の基本特性，データ収集，画像形成過程の解析並びにコンピュータを用いた医用画像の構築法，画像処理，画像情報の定量解析などの基礎放射線科学について教育します。さらに，画像情報を得るための具体的な撮影技術，臨床画像の分析，画質の評価，新しい画像解析手法の開発，形態画像情報及び機能代謝情報の分析，定量評価，データ解析法並びに放射線治療技術などの医用放射線科学について教育します。

検査技術科学専攻では，人からの検査材料（尿や便，血液，髄液，細胞や臓器など）や人体の生理機能（呼吸や血液循環，脳機能など）を検査して正確な情報を引き出し，それを処理・解析して病気の診断や早期発見，治療，予防に役立てる知識・技術を教育します。医療系基礎教育では，人体の構造と機能，微生物・寄生虫とその感染症，公衆衛生などの医学の基礎と，医学総論や臨床医学など医療関連の知識を教育します。専門教育では，臨床化学検査，病理検査，生理機能検査，病原体検査，免疫検査，血液学的検査，遺伝子検査など，臨床検査の幅広い分野において原理・方法とその技術について教育します。先進の検査技術や精度管理についても特論で教育し，学内での講義・実習および九州大学病院での臨地実習を通じて，臨床検査の総合的な実践能力・高度先端医療技術を教育します。

教育指導体制

保健学科は看護学専攻，放射線技術科学専攻及び検査技術科学専攻の3つの専攻から構成されています。

各専攻では，それぞれの専門領域において多くの実践を積んだ，教育経験豊かな教授陣により充実した教育・研究が展開されています。

③ アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

◆求める学生像

保健学科での学修をめざす学生には，病む人々や健康を願う人々の心を理解し，保健，医療，福祉の分野で活躍する意欲と強い意志があることが求められる。また，医療における諸問題を発見し，それらを解決するために課題を設定して解明するのに必要な思考力や自主性も求められる。さらに，広い分野の学習を進めながら関心の幅を広げたり，海外での医療活動を見据えた語学力が望まれる。

❶知識・技能

- 高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。
- 保健・医療・福祉における幅広い知識や技能。

❷思考力等

- 多面的に考え，客観的に批判し，自分の言葉で人に伝える資質。
- 保健・医療・福祉における課題を自主的に発見し，解決するために必要となる理系的・論理的思考力。
- 国際的に保健・医療・福祉活動を行うために必要な思考力および表現力。

❸主体性等

- 病む人々や健康を願う人々の心を理解し，保健，医療，福祉の分野で活躍することへの関心。
- 多様性を尊重する態度，異なる考えに共感する寛容性。
- 周囲や他分野の人々と積極的にコミュニケーションを図り，保健・医療・福祉活動を安全に遂行する意欲や能力。
- 高い倫理観と豊かな人間性を身に付け，保健・医療・福祉の分野で社会に貢献する意欲。

◆入学者選抜方法との関係

選抜方法に関する別表を参照

なお，保健師コース選択希望者については，2年冬学期終了時に選考試験を行う。選考は，試験時までの専攻教育科目の成績に加え，複数名のコース担当教員による面接，小論文を課し，総合的に審査する。

◆入学者選抜方法

	1. 知識・技能	2. 思考力・判断力・表現力等の能力	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜（前期）	調査書 大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	調査書
総合型選抜	調査書 大学入学共通テスト	小論文	調査書 志望理由書 個人面接

歯学部
School of Dentistry

① 教育理念

九州大学歯学部は高度職能人としての歯科医師を養成し，歯科医療や歯学の教育・研究におけるリーダーとして国内外で活躍できる優れた人材を育成することを教育理念とします。歯学部における教育は，高い倫理観，豊かな人間性，ならびに高い国際性を有する高度な専門知識と臨床能力を備えた歯科医師あるいは歯学研究者を養成し，口腔の機能改善と構築に幅広く貢献し，「口腔から全身の健康に貢献する」ことを実践することができ，国際的にも活躍できる指導的人材を育成することを目的とします。

② 教育プログラム

歯学部では，歯科医療および歯学に関連する幅広い知識を身につけるために，歯科基礎医学，臨床歯学のみならず，医療系統合教育や医学教育も含め，各専門分野における徹底した集団指導により，以下に掲げる歯科医師・歯学研究者に求められる資質を涵養することを目指します。また，能動学習を主体とした自律的学習態度を身につけて生涯研修の能力の基盤とし，専門科目で身につけた知識や技能を統合するための総合科目を設定して Problem-basedlearning や Team-basedlearning などの多様な教育方略を採用するとともに，形成的評価により自分の学習到達度を確認しながら学修を進めることのできる体系的なカリキュラムを提供します。

❶豊かな人間性と生命の尊厳について深い認識を有し，顎顔面口腔領域の健康を通じて人の命と生活を守る歯科医師としての職責を自覚します。

❷患者さんとその家族の秘密を守り，歯科医師の義務を果たし，医療倫理を遵守するとともに，患者の安全と安心を最優先し，常に患者さん中心の立場に立ちます。

❸歯科医療の内容を分かりやすく説明し，患者さんやその家族との対話を通じて良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力を有します。

❹医療チームの構成員の1人として，相互の尊重とともに，次世代を担う後継者や周囲の学習者に対して指導を行います。

❺統合された知識，技能，態度に基づき，自らの診療能力を正しく評価した上で，顎顔面口腔のみならず，種々の全身的，心理的，社会的状況に対応し，総合的に診療するための実践能力を有します。

❻医療を巡る社会経済的動向を把握し，地域医療の向上に貢献するとともに，地域の保健・医療・福祉・介護および行政等と連携協力します。

❼歯学・医療の進歩と改善に資するために研究を遂行する意欲と基礎的素養を有します。
❽歯科医師あるいは歯学研究者としてのキャリアを継続し，生涯にわたり自己研鑽を継続する意欲と態度を有します。
❾広く世界に目を向け，国際的な視点で歯科医療・歯学の発展と普及に貢献する意欲と態度を有します。

③ アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

◆求める学生像

歯学部では，多方面にわたる学力に優れていること に加え，九州大学教育憲章に基づき，秀でた人間性，社会性，国際性を有し，医療福祉の観点から奉仕精神や利他主義に基づく高い倫理観を有し，チーム医療や課題探求型チーム学習のチームの一員として協調性の 高い行動を取り，自律的な学究を指向する人材を求めている。

◆求める学生像と学力３要素との関連

①知識・技能：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。基幹教育科目，ならびに歯学部専攻科目を修学するために必要な理科系，文科系の多方面にわたる十分な基礎知識。
②思考力・判断力・表現力等の能力：多面的に考え，客観的に批判し，自分の言葉で人に伝える資質。チーム医療や課題探求型チーム学習のチームの一員として行動するための協調性を裏打ちするコミュニケーション能力。
③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度：「口腔から全身の健康に貢献する」ことへの関心。多様性を尊重する態度，異なる考えに共感する寛容性。医療福祉の観点から奉仕精神や利他主義に基づく高い倫理観。自らを向上させるため，常に自律的な学究を指向する意欲。医療人に必要な人間性，社会性，国際性を磨くために努力を惜しまない姿勢。

◆入学者選抜方法

	1. 知識・技能	2. 思考力・判断力・表現力等の能力	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	個人面接
総合型選抜	大学入学共通テスト	講義に対するレポート	調査書
学校推薦型選抜	大学入学共通テスト	個人面接	調査書，志望理由書，個人面接

薬学部
School of Pharmaceutical Sciences

新しい薬学部について

薬学は生体の科学と物質の科学の融合深化を図り，医薬の創製とその適正な使用および環境と健康の問題を含めて，疾病および健康を広範囲にわたって探求する学問です。薬学部は，これまで医療に直接携わる薬剤師，薬の創製に関する基礎および応用研究者，さらにこれらの分野で指導的役割を担う人材を育成してきました。薬学部が担ってきた薬剤師および研究者を育てるという2つの異なった教育をより効果的に行うため，薬学教育制度が改正されました。これにより，平成18年度よりこれまでの1学科制に代わり，“創薬科学科（4年制）”と“臨床薬学科（6年制）”の2学科が設置されました。2つの学科は，それぞれの役割に応じた異なるアドミッションポリシーで学生を募集します。

創薬科学科は，医薬品の創製に関する基礎および応用研究者となる人材の育成
を目的とする4年制の学科です。本学科の特徴は，化学や生物などの基礎科目を人体・病気・薬との関連で学ぶことです。これらを通して，創薬科学科では大学や製薬企業などで活躍する研究者を養成するための基礎教育と専門教育を行ないます。創薬科学科は大学院修士課程への進学を前提としたカリキュラムを組んでおり，修士（2年間）・博士後期課程（3年間）でさらに進んだ専門教育を行います。

臨床薬学科は，医療従事者としての実践力を持った薬剤師の養成を目的とする6年制の学科です。本学科では医療薬学の基礎的および臨床的教育や研究を通して，医療薬学の将来を担う指導者，教育者，研究者へと発展可能な人材を育成することを目的としています。臨床薬学科を卒業した後に，さらに高度な医療薬学の修得や医療薬学分野における研究を行う場合は，大学院博士課程（4年間）へ進学することになります。

入学者選抜の基本方針

令和３年度の入学者選抜は，大学入試共通テストと個別学力検査の組み合わせによる一般選抜（前期日程および後期日程）により行います。創薬科学科の募集人員は49名，臨床薬学科の募集人員は30名です。各募集人員を一般選抜（前期日程および後期日程）により募集します。

薬学部両学科間での転学科については，選考の上，若干名これを許可する制度があります。

【創薬科学科】

① 教育理念

21世紀の人々の健康を維持するためには，癌をはじめとする難病や新種のウイルスなどによる新興疾患に対する治療薬や予防薬の開発が必要です。このためには，生命のメカニズムの解明や障害因子の特定，並びにそれらの情報を基に副作用の少ない標的に特異的に働く理想的な医薬品の開発が必要です。薬を創る，いわゆる創薬産業は我が国で発展が期待される次世代産業の一つと捉えられており，これを育成・発展させることが望まれています。九州大学薬学部はこれまでも創薬研究に大きく貢献してきました。創薬科学科は，この創薬研究に関連する教育をさらに強化し，最先端の創薬研究に対応できる高い能力を持つ国際的に活躍できる研究者や指導者の養成を目指しています。

創薬科学科では，薬を創り出していく上で基礎となる化学系薬学，物理系薬学，生物系薬学，環境系薬学および医療系薬学を相互に関連付けて幅広く履修し，それらに関する高度な知識・技術を修得します。創薬科学科ではこれらの幅広い学問分野を修めかつ得意な専門分野に精通した人材の育成を目標に教育を行います。しかし，研究者としてはこれらの知識を吸収しただけでは不十分であり，さらに問題を見出し解決する能力が必要です。創薬科学科ではこのような問題発見・解決能力を養うために種々のプログラムを用いた教育を行います。創薬科学科では修士課程への進学を前提としたカリキュラムを組んでいるため，学部課程においては，創薬研究者や指導者になるための基礎的知識について学びます。しかし，問題の発見や問題を解決する能力は学部の教育だけでは十分ではなく，大学院修士課程や博士後期課程での学習や研究を通したさらなる能力の向上・強化が必要です。

② 教育プログラム

教育課程の特色・内容

創薬科学科の教育課程の特色は，先にも述べたように人体や病気に関する化学や生物などの基礎科目を人体・病気・薬と関連付けて学ぶ点です。創薬科学科では，4年の教育課程のうち3年間を基礎としての教育を行い，最後の1年間は応用的能力を養うために卒業研究を行います。卒業研究は，研究室に所属

薬学部
School of Pharmaceutical Sciences

して，経験豊富な教員の指導の下で，個別に最先端研究に取り組み問題解決能力の向上を図るものです。基礎教育課程の教育では，多様化・高度化する創薬科学や生命科学などに対応できる基礎的能力を獲得するため，創薬科学に関連した化学系，物理系，生物系，環境系および医療系講義を受けることが義務付けられます。特色ある人材を養成するために，創薬科学科では創薬有機化学者および創薬生命科学者等を養成するための多様なカリキュラムを準備しています。

そのほかに本学科では次のことに力を入れます。

❶人文科学と自然科学を含む幅広い教養教育を重視します。
❷基礎的な専門教育と早期体験学習を低学年の時に行い，薬学を学ぶ目的意識を明確にし，その動機付けを高めるとともに，基礎学力を養います。
❸国際的に活躍する能力を培うために，異文化や言語文化に関する教養教育を行うと共に，英語による成果発表のための演習を実施します。

教育指導体制

創薬科学科では3年生までは，講義と実習・演習が中心の教育を行います。社会科学科目や言語文化科目などの教養関連科目を除き，薬学に関連する専門教育は創薬科学科および臨床薬学科の教員が協力して全員で行います。4年次に行う卒業研究 (特別実習) は，両学科に所属する教員による個別指導によって行います。

❸ アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

◆求める学生像

●薬を科学し創ることに関する研究に対して強い意欲があり，研究者や指導者として育つ素養がある学生の入学を期待します。
●高等学校卒業レベルの十分な基礎学力を持つとともに，理科科目（化学，生物および物理）に対して強い興味がある学生の入学を期待します。
●将来の国際的な活躍のための基盤となりうる十分な英語の基礎学力をもつ学生の入学を期待します。

◆求める学生像と学力３要素との関連

❶知識・技能：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。特に，化学系，物理系，生物系，医療系の基礎学問の習得が必要であるため，理科科目に対する強い興味と十分な素養，および，基本的な英語力を持っていること。
❷思考力・判断力・表現力等の能力：知識を活用し，多角的に考え，客観的に評価できる素養を持っていること。さらに，創造力，指導力，国際性を磨くため積極的に努力する素養を持っていること。
❸主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度：薬を科学し創ることに関する研究に対する関心。理科科目 (化学，生物および物理) に対する興味。自分の考えを持ち，的確にそれを伝え，さらに異なる考えも尊重してコミュニケーションを積極的に行う素養を持っていること。

◆入学者選抜方法

	1. 知識・技能	2. 思考力・判断力・表現力等の能力	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト 調査書 個別学力検査	個別学力検査	調査書
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト 調査書 個別学力検査	個別学力検査	調査書 志望理由書 個人面接

【臨床薬学科】

❶ 教育理念

近年，医療の高度化，複雑化，高齢社会の到来，医薬分業の進展など薬剤師を取り巻く環境が大きく変化しています。このような状況下で，薬剤師は最適な薬物療法の提供，服薬指導，医療への安全対策など，幅広い分野において独自の役割を果たすことが，強く求められるようになってきました。また，薬剤師としての基礎知識や技能，高い倫理観はもとより，医療従事者としての教養，医療現場で通用する実践力など，これまで以上に高い資質を持った薬剤師を養成することが求められています。九州大学の薬学部臨床薬学科は，広い視野と豊かな人間性を有し，かつ医療従事者として質の高い薬剤師教育を行い，医療薬学の将来を担う人材を育成することを教育理念としています。

臨床薬学科では，基礎薬学としての化学系薬学や物理系薬学ならびに生物系薬学を体系的に学ぶとともに，高度な医療薬学の基礎的および臨床的教育を行い，さらに臨床にかかわる実践的な実務能力を培います。医療従事者として広範な視野を持ち，医療現場で指導的役割をになう薬剤師を育成したいと考えています。

❷ 教育プログラム

教育課程の特色・内容

臨床薬学科では，6年の教育課程を前期3年，後期3年として捉えています。前期では基礎的な薬学系科目を中心として，後期では医療薬学系の科目や薬剤師の職能教育に必要な実践的な薬学系科目を履修します。4年次の後期に行われる共用試験（薬局や病院の現場に出る前に，実務実習に必要な基本的な知識・技能・態度を身につけていることを担保するために行われる試験）に合格した学生を対象に，5年から6年次にかけて医療従事者としての薬剤師養成のため，また薬学生が薬剤師を体験する機会として，長期にわたる業務に参加する型の実務実習を行います。実務実習は病院と薬局における実務実習にわかれ，その期間は合わせて5 ヶ月です。なお，実務実習の教育的効果を図るため，臨床薬学科において事前学習（講義・実習を2 ヶ月程度）を実施します。

また，4年から6年次には，科学的思考能力を備えた薬剤師としての素養を身につけるため，研究室に所属して，卒業研究を行います。

このほか本学科では次のことに力を入れます。

❶人文科学と自然科学を含む幅広い教養教育を重視します。
❷基礎的な専門教育と早期体験学習を低年次で導入し，薬学を学ぶ目的意識を明確にし，その動機付けを高めるとともに，基礎学力を養うことを行います。
❸体験学習等による医療従事者としての人間性および倫理観の育成を行います。
❹高い実践能力が身につく専門教育を行います。
❺臨床薬学における教育者・研究者の育成をめざした教育を行います。

教育指導体制

臨床薬学科および創薬科学科の教員が協力して，薬剤師として必要な化学系薬学や物理系薬学ならびに生物系薬学，さらにより高度な医療薬学ならびに臨床的教育を行います。本学科の特徴である病院や薬局における実務実習 / 指導は，医療現場で実務についている薬剤師の方々と本学科の教員とが協力して行います。

薬剤師国家試験の受験資格について

臨床薬学科を卒業すると薬剤師国家試験受験資格が与えられます。

❸ アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

◆求める学生像

●科学研究に対して高い興味や関心を持ち，研究者や指導者として育つ素養がある学生の入学を期待します。
●高等学校卒業レベルの十分な基礎学力を持つとともに，理科科目 (化学，生物および物理) に対して強い興味を持つ学生の入学を期待します。
●医療人として患者や医療従事者等とコミュニケーションを取ることができ，医療人としての倫理観が育つ素養を持つ学生の入学を期待します。
●将来の国際的な活躍のための基盤となりうる十分な英語の基礎学力をもつ学生の入学を期待します。

◆求める学生像と学力３要素との関連

❶知識・技能：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。特に，化学系，物理系，生物系，医療系の基礎学問の習得が必要であるため，理科科目に対する強い興味と十分な素養，および，基本的

な英語力を持っていること。さらに，薬剤師としての基礎知識，技能を習得するため積極的に努力する素養を持っていること。

❷思考力・判断力・表現力等の能力：知識を活用し，多角的に考え，客観的に評価できる素養を持っていること。さらに，創造力，指導力，国際性，に加え，薬剤師としての高い倫理観を磨くため積極的に努力する素養を持っていること。

❸主体性を持って多様な人々と共同して学ぶ態度：科学研究に対する関心。理科科目 (化学，生物および物理) に対する興味。自分の考えを持ち，的確にそれを伝え，さらに異なる考えも尊重してコミュニケーションを積極的に行う素養を持っていること。さらに，医療従事者としての教養，医療現場で通用する実践力を磨くため積極的に努力する意欲を持っていること。

◆入学者選抜方法

	1. 知識・技能	2. 思考力・判断力・表現力等の能力	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜（前期）	大学入学共通テスト 調査書 個別学力検査	個別学力検査	調査書
一般選抜（後期）	大学入学共通テスト 調査書 個別学力検査	個別学力検査	調査書 志望理由書 個人面接

工学部
School of Engineering

❶ 教育理念

工学部は，「九州大学教育憲章」に則り，主体性と工学分野の専門性，先導性，学際性，国際性の育成を目指す学士・修士一貫型教育における学士課程の教育を通して工学の専門性を活かしたジェネラリスト，及び高い倫理感と国際性をもって我が国の工業技術を先導し，人類社会の課題解決に貢献する工学のプロフェッショナルの基盤を培うことを目的としています。

❷ 入学者選抜の基本方針

入学者の選抜は，入学志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価するため，記述学力重視型入試に相当する一般選抜と大学適応力重視型入試に相当する総合型選抜のほか，帰国生徒選抜，私費外国人留学生入試及び学士課程国際コース入試により入学者を選抜します。入試科目などの選択に関する詳しいことは，募集要項をご覧下さい。

◆入学者選抜方法

	1. 知識・技能	2. 思考力・判断力・表現力等の能力	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜（前期）	調査書 大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	調査書
一般選抜（後期）	調査書 大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	調査書
総合型選抜	調査書 大学入学共通テスト	実技 課題探求試験 または実技試験	調査書 志望理由書 面接

❸ アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

工学部では，高等学校等までに学習した国語，英語，数学，理科，社会の学力を有したうえで，物理学や化学など自然科学の原理と法則を理解し，幅広い教養と倫理観および国際的視野を併せ持って文明の持続的発展を支える「ものづくり」を先導する技術者，研究者として成長したいという強い意欲と適性を持った学生を求めています。

【電気情報工学科】

❶ 教育プログラム

教育課程の特色・内容

電気情報工学科では，電気情報工学の数理・物理・情報学的側面からシステムまでの知識を体系的に獲得させ，半導体デバイス，装置・機器，システム，情報システムの動作原理を理解し，これらに関する新しい技術開発を行う能力と，それを通して安全・安心，持続可能で豊かな社会に貢献する人材を育成することを目的とし，専門分野の知識・理解を身に付け，かつそれを社会において活用することができる人材を育成します。このために，専門分野の知識・理論について基礎の理解の上により高度な知識を修得する積み上げ型の教育と，社会での実現・応用の目的から遡って何を学ぶかを考えながら学修するアクティブ・ラーニング要素を持つ目的指向型教育とを，６年間の中にくさび型に配置する６年一貫型教育を実施します。

【材料工学科】

❶ 教育プログラム

教育課程の特色・内容

材料工学は，あらゆる構造物やデバイスを構成する材料を創製し，またその物性を制御することを追求する学問です。本学科では，物質におけるナノレベルでの原子や電子の振る舞いから，マクロレベルでの材料の製造プロセス制御および材料の特性発現に関する原理や概念に関して教育を行います。同時に，地球規模の省資源や環境保全を常に念頭に置き，社会から求められる専門性と多様性に対応し，材料工学の分野の広がりと専門教育の深化の両方に対応することのできる，世界的な価値観を有する創造性豊かな技術者・研究者の育成を目指します。

【応用化学科】

❶ 教育プログラム

教育課程の特色・内容

応用化学は，人類が豊かで持続的に発展できる社会を実現するための優れた材料の創出と活用を目指す学問です。 本学科では，生活の基盤をなす材料の物性を原子・分子のレベルで理解・制御し，物質に関する科学技術の新領域を創出し，地球環境との調和ならびに豊かな物質社会と人類の福祉に貢献できる研究者・技術者を養成することを目指します。

【化学工学科】

❶ 教育プログラム

教育課程の特色・内容

化学工学科では，物理化学，反応工学，流体工学，伝熱工学，物質移動工学，プロセスシステム工学，生物化学工学で構成される化学工学の基礎を学び，環

工学部
School of Engineering

境・エネルギー，新規機能性材料，バイオテクノロジー・高度先進医療，生産プロセスに関する専門基礎を教育し，地球環境との調和と人類の福祉に貢献できる研究者・技術者などの人材を育成します。社会が求める優れた人材の養成をめざすために，研究を通した教育によって学部４年と修士２年を連結した６年一貫型教育を行うことで，化学工学を中心とする幅広い基礎学問を修得し，そこで学んだ基礎知識をもとに，卒業後に自ら学習（アクティブ・ラーニング）することによって，将来的により高度な専門性を有することを可能とします。このように，多様な知識の獲得と実践，学びの深化を行うことで実践力を持った研究開発者の育成をめざします。

【融合基礎工学科】

① 教育プログラム

教育課程の特色・内容

融合基礎工学科では，物質科学，材料工学，機械工学，電気電子工学の従来型工学系ディシプリンに学際領域を包含した専門分野（物質科学と材料工学を融合した物質・材料工学，または機械工学と電気電子工学を融合した機械・電気電子工学）をメジャー分野に，情報科学をマイナー分野に設定し，PBL 教育で両者を実践的に結び付けることにより，環境・エネルギー問題に代表される多様で複雑な問題に対応し，解決することができる工学系π型人材を育成することを教育目標としています。

本学科で育成する“π型人材”像

また，物質・材料工学分野又は機械・電気電子工学分野に関するコース専門科目の学修を通して，各々の分野の専門力を強化し，環境・エネルギー問題に代表されるグローバルな課題の解決に不可欠な俯瞰力・実践力を養います。さらに，マイナーとなる情報科学に関連する科目を履修することで各々の専門分野において情報科学を有効に応用できる情報応用力を養成します。

【機械工学科】

① 教育プログラム

教育課程の特色・内容

機械工学科は，機械要素や機械システムなどの「ものづくり」の技術を追究する学問です。本学科では，自然法則の基礎理論を理解し，社会のニーズに応え，制約された条件下で社会や自然への影響を常に考慮しつつもの作りを行う能力と，文化の枠を越えた世界的な価値観を有する創造性豊かな技術者・研究者を組織的に養成し，機械工学の基盤となる四力学および数学に代表される工学の素養に関する科目に対する確実な修得に基づいて，数式を通した実現象の理解およびその現象と具体的な「もの」との関係を把握することを重視したカリキュラムを編成します。水素工学，生体工学，テクノロジー・マーケティング，ロボティクス，精密加工・計測等に関連する応用的な科目および四力学に関しての高度な内容の科目群を選択科目として配置し履修機会を与えることで，主体的に学ぶ姿勢と実践的な問題解決能力を身に付けると同時に修士課程への接続を容易にしています。

【航空宇宙工学科】

① 教育プログラム

教育課程の特色・内容

航空宇宙工学科は，人類の活動領域拡大に必要な先進工学分野を開拓する学問です。本学科では，力学を基礎とした工学理論や，航空宇宙機開発特有のシステム工学に関連する基礎学問を修得し，航空宇宙機の運用環境拡大によって生ずる課題を発見・解決する能力および幅広い教養と総合性，国際性を身に付けた技術者・研究者を組織的に養成することを目的にしています。

また，航空宇宙機の開発や運用の基礎となる自然科学分野の諸学理の理解とシステム・インテグレーション能力の養成のための教育を行います。４年次に「応用飛行制御論」を情報系科目として設定し，航空宇宙機に搭載された各種センサから得られる計測データを用いた飛行状態の推定，コンピュータ制御の基礎となるディジタル制御など，一般的抽象的な手法ではなく航空宇宙分野特有のデータ解析手法を学ぶことを通してデータサイエンスの基礎を修得します。さらに，90% を超える学生が修士課程へ進学する現状に鑑み，航空宇宙工学専攻との学部・修士一貫型教育を念頭において幅広い知識を融合させて人類の未来に貢献する学生を輩出するカリキュラム編成としています。

【量子物理工学科】

① 教育プログラム

教育課程の特色・内容

量子物理工学科は，真理の追求と最先端の物理学の工学への応用という観点のもとに，ミクロからマクロにわたる視野で物理現象を理解し，現代社会の問題解決と持続可能な社会の構築を探求する学問です。本学科では，応用物理学，量子科学，原子核工学等に係る基礎的学問の深い理解をもとに，新しい量子現象の観察やその応用，量子ビームに関わる技術の深化や医療・生命分野等多方面への応用，新規な材料の開発，エネルギー開発，環境保全等の分野において，世界的に活躍できる研究者・技術者の育成を組織的に養成します。

また，自らの専門性を深めるために自らの興味と専門とする分野を考慮して履修することができるよう，原子力・放射線分野や応用物理学分野にわたる幅広い科目を開講しています。

【船舶海洋工学科】

① 教育プログラム

教育課程の特色・内容

船舶海洋工学科は，船舶による海上交通や海洋輸送の活用，海洋に存在する再生可能エネルギーや鉱物資源の開発等，海洋環境の保全を図りつつ海洋の持続的な開発および利用を可能とする技術の発展を追求する学問であると同時に，異なる研究分野の間に共通する概念・手法・構造を抽出することで分野間の知の互換性を確立し，普遍的な知の体系を作り上げる「知の統合」を生み出す総合工学の一つの分野でもあります。本学科では，自然法則の基礎理論を理解し，グローバルな価値観に基づき海洋と人類の共生に貢献することを目的として，造船技術の継承・発展を図る能力，ならびに持続的な海洋開発を担い得る総合工学的な広い視野を持った技術者・研究者を育成することを教育目標としています。

【地球資源システム工学科】

① 教育プログラム

教育課程の特色・内容

地球資源システム工学科は，あらゆる産業活動の基盤と社会生活を支えるエネルギー資源と鉱物資源の持続可能な環境適応型の探査・開発・生産技術，さ

らに資源循環・防災に関する独創的な技術の創生を目指す学問です。本学科では，国際的に展開される地下資源の探査・開発・供給，国内外における自然災害の防止技術の開発や地球環境への負荷を軽減する諸技術の開発を担う21世紀の地球資源システム工学に関する，地球規模での発想能力と創造力を兼ね備えた研究者・技術者を育成することを教育目標としています。

【土木工学科】

① 教育プログラム

教育課程の特色・内容

土木工学科は，構造物の設計・施工に関する技術展開と都市問題から環境問題に至る社会基盤システムの構築を体系的に探究する学問です。本学科では，社会基盤や社会環境システムの創造や構築に対応できる専門的基礎知識と技術を備え，かつ柔軟な応用力や実行力を身につけた人間性，国際性豊かな技術者・研究者を組織的に養成することを目的としています。

カリキュラム編成は，土木工学の幅広い領域の専門科目を基礎から応用まで積み上げる縦糸的な科目群と，これからの時代の変化を見据え，学んでおくべき横糸的な科目群からなり，構造・材料系，地盤系，計画系，環境系，水系の五つの専門領域と社会における土木工学の位置づけや幅広い役割について理解することを目的とした基礎領域を配置し，様々な専門知識についての理解を深めることを目標としています。

【建築学科】

① 教育プログラム

教育課程の特色・内容

建築学は，未来の建築と都市を構想し，歴史・文化を継承し，人々を取り巻く物的環境の形成を担う学問です。本学科では，時代と共に変化する人々の多様な生活に密着した空間をつくり出し，それを活用し続けるために，建築の計画理論と設計方法，環境技術，構造技術，さらに材料に関する知識と施工技術など，多様な要素を総合する能力を持つ人材を，組織的に育成することを教育目標としています。

芸術工学部
School of Design

① 教育理念

芸術工学部の教育，研究において中心となる学問分野は「芸術工学」です。これは，「技術の人間化」を理念として，科学技術を人間生活に適切に利用するために，技術の基盤である科学と，人間精神のもっとも自由な発現である芸術とを統合し，その全体的な精神によって技術の進路を計画し，その機能の設計について研究する，という学問分野です。芸術工学部は，「技術の人間化」を実践する学部として，工学や技術に関する科学的な知識，人間や社会に対する深い洞察や，社会の状況に的確に対応できる豊かな教養を持ち，国際的にも通用する広い視野と学識を有する創造性あふれる高度デザイン人材の育成を目的としています。

② 教育プログラム

近年の社会構造の変化，解決すべき社会的課題の複雑化などに伴って，デザイナーの役割も大きく変化し，デザインの対象も「モノ」から「コト」，「ビジョン」へと拡大し，さらには価値創造プロセス全体や，未来のあり方に関する「問い」までもが含まれるようになってきました。このような変革に対応するために，芸術工学部では従来の5学科を「芸術工学科」の１学科へ統合し，その中に緩やかに並列する以下の5コースを設置することとしました。

- **環境設計コース**
- **インダストリアルデザインコース**
- **未来構想デザインコース**
- **メディアデザインコース**
- **音響設計コース**

これまでの芸術工学の学問的アイデンティティを継承しつつ，拡大し流動化するデザイン領域に対応できる体制です。芸術工学部の教育プログラムは，以下の特色を持っています。

Ⅰ）**創造性を育む新しいデザイン教育**：芸術工学の基幹をつくるデザインリテラシー科目や，他コースの学生と協働して新たな価値創出や課題解決に取り組むコース演習科目，融合プロジェクト・プラットフォームなどを設置します。

Ⅱ）**学生の流動性の促進**：1年を４学期に分けるクォーター制の授業開講による機動的な受講を基本として，一定の条件を満たした場合に3年次からの転コースや，卒業研究を他コースで実施することを可能にするなど，軸足となる専門性をしっかりと担保しつつ，デザイン領域の拡大や学生の自由な発想に対応できる仕組みを導入します。

Ⅲ）**国際的な教育活動の促進**：全コースの学生を対象に国際プログラムを設け，英語による講義・演習授業の実施，英語による卒業研究発表などを実施します。国際プログラムに所属する学生は，在学中に履修プログラムの一環としての留学を行い，海外の大学での新たなデザイン概念，デザイン実践を修得します。

Ⅳ）**その他**：国際的な建築家資格を目指す学生向けに，環境設計コースの４年間と大学院芸術工学府の２年間を合わせた６年間の国際標準の建築設計教育を提供します。その他にも，卒業ののちに活躍できるよう，設計やデザイン関係の各種資格を受験するために有効な教育プログラムが用意されています。さらに，企業や自治体および非営利法人 (NPO) などと連携した実践的な講義・演習科目も多く用意されています。

【環境設計コース】

① 教育理念

エコロジー，持続可能性，地域再生といった近年の課題に応えるため，人間をとりまく環境について多角的な知識を学び，両者の関係のありかたを考察して，芸術的センスあふれる建築，都市，地域，緑地，ランドスケープなどよりよい環境をデザインできる総合的な設計家を育成します。

② 教育プログラム

- **本コースでは，低年次において基礎科学やデザインリテラシーの授業とともに環境設計の基礎スキルを培うための教育科目を配置します。**
- **その後，フィールドワークなどの学外実習や，実践的な設計プロジェクト演習を中心として，それを専門講義科目群が支えるカリキュラムによって，多様化する環境に関する諸問題や，建築，都市，地域，ランドスケープなど，幅広く専門的な知識と実践的な設計能力を修得させます。**
- **一級建築士受験資格に対応しており，大学院修士課程と合わせることで国際的な建築家教育課程として認定されたプログラムも用意されております。**

芸術工学部
School of Design

③ アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

◆求める学生像

環境設計コースでは，次のような資質，意欲・関心を備えた学生を求めている。

1. 多様化する環境に関する諸問題に対して，空間の広がりや，歴史性をふまえて，問題を解決するためにどのような提案をすべきか，自ら判断する強い意欲を有する。
2. 建築，都市，地域，ランドスケープ等に関する専門知識を修得するために必要な基礎学力を有する。
3. 環境を読み解く力，社会調査スキル，科学的思考力，表現能力，分析する力を修得するために必要な環境や事物を観察する能力，創造的な感性を有する。

◆求める学生像と学力３要素との関連

❶**知識・技能**：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。継続的な学習を支える好奇心。特に上記の求める学生像の2. に対応している。

❷**思考力・判断力・表現力等の能力**：多面的に考え，客観的に批判し，自分の言葉で人に伝える資質。鋭敏な観察能力と創造的な感性。特に上記の求める学生像の3. に対応している。

❸**主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度**：建築，ランドスケープ，歴史環境等の創造性に関わる環境設計関連分野への強い関心。多様性を尊重する態度，異なる考えに共感する寛容性。失敗を恐れない向上心。特に上記の求める学生像の1. に対応している。

◆入学者選抜方法

	1. 知識・技能	2. 思考力・判断力・表現力等の能力	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	調査書 大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	調査書
総合型選抜	調査書 大学入学共通テスト	実技	調査書 志望理由書

【インダストリアルデザインコース】

① 教育理念

社会とのつながりを踏まえ，人間の特性をさまざまな側面から理解し，技術の再編・統合も含めた生活者の立場からの新しい俯瞰的視点を備え，安全・安心で魅力的な「製品」「生活環境」「サービス」を創造するクリエーター，プランナー，エンジニアなども含む広義のデザイナーを育成します。

② 教育プログラム

●**本コースでは，低年次において基礎科学やデザインリテラシーの授業とともに，人の生活や社会を支える様々な設計対象に対応するための感性，工学，科学などの複数の考え方に基づいた基礎スキルを培うための教育科目を配置します。**

●**その後，人間の特性を理解し，論理的にデザインを創造するために，クリエーティブデザインと人間工学を核とした専門科目に関する講義と演習を相互に行い，深い理解と知識・技術を修得させます。また，専門領域を横断したプロジェクトの学修を介して，高度な専門知識を融合し新しい価値を創造できる実践的な能力を修得させます。**

③ アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

◆求める学生像

インダストリアルデザインコースでは，次のような資質，意欲・関心を備えた学生を求めている。

1. 人間の特性と論理的にデザインを創造する幅広い専門知識を修得するために必要な基礎学力を有する。
2. 人間とは何かを考え，人間の生活や社会を支える「製品」「生活環境」「サービス」「社会システム」の創造に対して強い意欲を有する。
3. 社会的視点を持って物事を考え，実践する努力を惜しまない意欲を有する。

◆求める学生像と学力３要素との関連

❶**知識・技能**：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。特に上記の求める学生像1に対応している。

❷**思考力・判断力・表現力等の能力**：多面的に考え，客観的に批判し，自分の言葉で人に伝える資質。特に上記の求める学生像2に対応している。

❸**主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度**：人間とは何かを考え，人間の生活や社会を支える「製品」「生活環境」「サービス」「社会システム」を創造することへの関心。多様性を尊重する態度，異なる考えに共感する寛容性。特に上記の求める学生像3に対応している。

◆入学者選抜方法

	1. 知識・技能	2. 思考力・判断力・表現力等の能力	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	調査書 大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	
総合型選抜	調査書 大学入学共通テスト	実技	調査書 志望理由書
学校 推薦型選抜	推薦書 調査書 大学入学共通テスト 面接	推薦書 志望理由書 面接	推薦書 調査書 志望理由書 面接

【未来構想デザインコース】

① 教育理念

現代と未来の社会における複合的な課題と可能性に向き合うため，人々や社会が持つ本質的な課題や期待を捉え，そこで必要となるコト・サービス・ビジョン・社会の在り方を総合的にデザインできる発想力や創造力を持った人材を育成します。

② 教育プログラム

●**本コースでは，低年次において基礎科学やデザインリテラシーの授業とともに，新たなデザイン分野を切り開くために自然科学，情報科学，社会科学，アート・デザインなどの分野の基礎的な知識を修得させるための教育科目を配置します。**

●**その後，近い未来の社会のありようを想起するため，芸術，技術，思想の歴史と理論などの知識を修得させ，アート＆デザイン，社会構想，情報・生命の科目群で構成していた専門科目によって未来を構想，デザインする能力を養います。また深化・展開科目として他コースの科目を集中的に履修することで具体的なデザイン対象に習熟し，融合プロジェクト・プラットフォームでの演習を通して実践的な知識やスキルを修得させます。**

③ アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

◆求める学生像

未来構想デザインコースでは，次のような資質，意欲・関心を備えた学生を求めている。

1. 近い将来の我々の社会のありように関心を持ち，既成概念にとらわれることなく，新たなデザインの分野の開拓や表現活動への挑戦と創造への強い意欲を有する。
2. よりよい社会を構想するために，芸術，技術，思想に関する知識と，自然や社会を数理科学的に捉える生命科学，情報科学に関する知識を修得するために必要な基礎学力を有している。
3. 社会的な課題に関心を持ち，論理的な思考力と実証的な志向性を有する。

◆求める学生像と学力３要素との関連

❶**知識・技能**：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。特に上記の求める学生像の2. に対応している。

❷**思考力・判断力・表現力等の能力**：多面的に考え，客観的に批判し，自分の言葉で人に伝える資質。上記の求める学生像の3. に対応している。

❸**主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度**：未来を構想し，デザインを通して実現することへの関心。多様性を尊重する態度，異なる考えに共感する寛容性。上記の求める学生像の1.3. に対応している。

◆入学者選抜方法

	1. 知識・技能	2. 思考力・判断力・表現力等の能力	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	調査書 大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	調査書
総合型選抜	調査書 大学入学共通テスト	表現・プレゼンテーション・対話・レポート	調査書 対話・レポート 志望理由書
学校推薦型選抜	推薦書 調査書 自己活動評価書 小論文	推薦書 調査書 作文 自己活動評価書 小論文 面接	推薦書 調査書 作文 自己活動評価書 面接

【メディアデザインコース】

❶ 教育理念

論理的な思考能力と芸術的感性あふれる表現能力を併せ持ち，メディアとコミュニケーションに関する問題を科学的かつ文化的視点で捉え，新しいメディアテクノロジーを応用し，創造的なデザインに積極的に挑戦できる，クリエーターをはじめとする高次のデザイナーを育成します。

❷ 教育プログラム

●**本コースでは，低年次において基礎科学やデザインリテラシーの授業とともに，芸術表現やプログラミング言語，コミュニケーションに関わる基礎的な知識を修得させるための教育科目を配置します。**

●**その後，メディア表現，メディアインタラクション，メディアコミュニケーション学の３つの科目群を配置し，メディアとコミュニケーションのデザインや研究に応用できる数理的な知識，人の心理に関わる知識，知的財産の保護・流通，芸術と文化に関わる専門的知識を修得させます。**

❸ アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

◆求める学生像

メディアデザインコースでは，次のような資質，意欲・関心を備えた学生を求めている。

1. メディアとコミュニケーションに関わるデザインと芸術的表現に強い意欲を有する。
2. メディアとコミュニケーションに関わるデザインの知識，数理科学的知識，人間の心理や知的財産に関する知識，芸術と文化に関わる知識を修得するために必要な基礎学力を有する。
3. メディアとコミュニケーションに関わるデザイン，コンテンツ創成に関する基礎的な表現能力を有する。

◆求める学生像と学力３要素との関連

❶**知識・技能**：高等学校等における理系分野の基礎的教科・科目の履修を通してメディアデザインの教育を受けるうえで必要な基礎的学力を有している。特に上記の求める学生像の2. に対応している。

❷**思考力・判断力・表現力等の能力**：メディアとコミュニケーションに関わるデザインを客観的に捉え，創造的に実践するうえで必要な論理的思考能力と，基礎的な表現能力を有している。特に上記の求める学生像の3. に対応している。

❸**メディアとコミュニケーションに関わるデザインと芸術的表現への強い関心**：多様な価値を尊重し，様々な創造的表現に関心を有している。特に上記の求める学生像の1. に対応している。

◆入学者選抜方法

	1. 知識・技能	2. 思考力・判断力・表現力等の能力	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	
総合型選抜	大学入学共通テスト	実技	志望理由書

【音響設計コース】

❶ 教育理念

音文化を深く理解し，音に対する正しい評価，人間に適合した音環境の創出，音響情報の高品質化の推進に必要となる，音に対する鋭い感性と他分野との融合も視野に入れた高度な専門的知識を兼ね備えた，総合的な設計能力を有する人材を育成します。

❷ 教育プログラム

●**本コースでは，低年次において基礎科学やデザインリテラシーの授業とともに，音に関連する芸術，科学，技術の分野の基礎科目を配置します。**

●**その後，音響設計の専門家として必要な，音に対する感性と音に関連する文化，環境，情報の各分野についての専門知識を修得，深化させ，さらにコースの専門科目やコースにまたがる横断的な科目を履修することを通して，総合的に課題を解決するために応用する能力を修得させます。**

❸ アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

◆求める学生像

音響設計コースでは，以下のような学生を求めている。

1. 音に関連する芸術，科学，技術の幅広い分野に関心を持ち，専門的知識を自発的に修得する強い意欲を有する。
2. 音響設計の専門家として必要な音に対する感性と，音に関連する文化，環境，情報の各分野についての専門的な知識を修得するための基礎学力を有する。
3. 音響・音楽などに関する強い関心や有意義な経験を持ち，芸術的感性を有して個性豊かであるとともに，音響設計コースにおいて自主的に修学する意欲を有する。

◆求める学生像と学力３要素との関連

❶**知識・技能**：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。高等学校で履修する科目，特に，数学，物理，外国語の基礎知識を確実に習得していること。上記の求める学生像の2 に対応している。

❷**思考力・判断力・表現力等の能力**：多面的に考え，客観的に批判し，自分の言葉で人に伝える資質。入学後の修学に必要である基礎学力に加えて，論理的な思考能力，数理的思考能力，問題解決能力，独創性，表現力を有していること。上記の求める学生像の3 に対応している。

❸**主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度**：多様性を尊重する態度，異なる考えに共感する寛容性。音に関連する芸術，科学，技術の幅広い分野に関心。音響・音楽に関する様々な活動など，有意義で実践的な経験を有していること。音楽に関する芸術的感性を有していること。上記の求める学生像の1，3 に対応している。

◆入学者選抜方法

	1. 知識・技能	2. 思考力・判断力・表現力等の能力	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	
総合型選抜	大学入学共通テスト	小論文	個人面接

農学部
School of Agriculture

❶ 教育理念

教育理念・目標，育成する人材像等

地球規模での食料問題と環境問題の克服に向けて人類の英知が試されています。このような状況下，食料・生活資材の安定供給，生物生存環境の保全，そして人類の健全な発展に貢献することは，農学に課せられた使命です。私たち人類が食料・衣料・住居を消費しながら生存し続けるためには，地球上で唯一の永続的かつ環境負荷を伴わない生物資源を生産し，それを加工・利用するための科学技術を創造していかなければなりません。生物資源の科学を中心に据え，それをとり巻く環境問題から社会問題に至るまでの幅広い問題を取り扱う総合科学として農学があります。農学は，生命体としての動植物から細胞，分子にいたるまでの生命の営みを人類の福祉に役立てることを目的として，新たな飛躍の時代を迎えています。

九州大学農学部は，農学の使命を達成するための多様な人材を育成することを目的として，生物生産，生物機能，生物環境等に関連する学問分野において，国際的に通用する専門性と技術を有するばかりでなく豊かな課題探求能力とバランス感覚を備えた人材の育成を行っています。

❷ 教育プログラム

教育課程の特色・内容

農学は，生命科学，環境科学，社会科学等の広範な学問分野にまたがる生物生産と利用のための学問です。すなわち，農・林・水・畜産業とそのフィールドとしての環境及び関連の二次産業を含めた「広い意味の農業」を対象とする応用の学問ですので，生物学，化学，物理学のみならず経済学など多岐にわたる学習経験が非常に重要となります。そのため，農学部はあたかも一つのユニバーシティともいえる総合的な教育体制をとっています。

具体的には，農学部は1学科すなわち生物資源環境学科から成っていますが，その中に生物資源生産科学，応用生物科学，地球森林科学，動物生産科学，国際コースの5コースが設置され，各コースはそれぞれ複数の専門分野から構成されています。このような総合的な教育体制の中で，幅広い教養と専門知識を備えた人材の育成を行い，新しい時代の要請に応えています。

高校卒業後の学生にとって，農学の広い学問領域から自己の適性にあった進路を選択することは必ずしも容易ではないと思われます。そこで入学後1年半の間に基幹教育科目と基礎的な専攻教育科目の履修を通して，農学に関する基礎知識を学び農学の全体像を把握したのちにコース選択するように配慮しています。

すなわち，農学部では入学者を学部一括して受け入れ，所定の単位の修得を条件に2年次後期の開始時に所属コースを決定します。この決定は2年次前期に行われるコース希望調査に基づいて行われますが，希望者が集中したコースについては入学してから2年次前期までの成績で上位の者から優先して配属コースが決定されます。このコース配属方式では，自己の適性にあったコースを決定することができる一方，希望コースに配属されるためには，優秀な成績を修める努力が要求されます。

また，コース配属と同様の方式で，3年次前期開始時までには履修分野を決定します。コースによってはコース配属時に履修分野も決定します。卒業研究（卒業論文）指導教員は，通常4年次前期開始時に決定します。

さらに，2010年より秋入学の国際コースが開設されました。受入対象学生は留学生のみでしたが，2018年秋入学からは，対象学生を留学生，日本人，国籍を問わず受け入れ，他の4コースとは独立したカリキュラムに沿って全ての科目を英語で履修します。3年後期に上記いずれかのコースの研究室に配属され，卒論研究に励むことになります。

農学部履修コース･履修分野

		履修コース	履修分野
農学部	生物資源環境学科	生物資源生産科学	農学 生物生産環境工学 生物生産システム工学 農政経済学
		応用生物科学	応用生命化学 食糧化学工学
		地球森林科学	森林機能制御学 森林機能開発学 生物材料機能学
		動物生産科学	水産科学 アニマルサイエンス
		国際	卒業論文研究は 上記いずれかの分野で実施

❸ アドミッションポリシー（入学者受入れの方針）

◆求める学生像

農学部では，生物生産，生物機能，生物環境等の学問分野において専門性及び技術を習得し，課題解決能力と国際的視野を併せ持つ人材を育成することを主眼とした教育を行っています。そのために，農学部では以下のような学生を求めています。

❶生物生産，生物機能，生物環境等の農学関連分野に強い関心を有し，将来これらの分野で活躍を目指す意欲的な学生を求めています。

❷農学部の教育・研究は，自然科学から社会科学にまで及ぶ広範な基礎科学と応用科学に立脚しているので，幅広い教養と専門的知識をともに修学できるバランス感覚を備えた学生を求めています。

❸国際的に活躍する土台となる高度な語学能力を持ち，自己の語学能力の向上に熱心な学生を求めています。

◆求める学生像と学力３要素との関連

❶知識・技能：高等学校等における基礎的教科・科目の履修を通して獲得される知識・技能。特に，大学での生物，化学，物理等の学習に必要な理系科目の充分な素養と基本的な英語力。

❷思考力・判断力・表現力等の能力：多面的に考え，客観的に批判し，自分の言葉で人に伝える資質。特に物事を理論的に把握する能力。

❸主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度：生物生産，生物機能，生物環境等の農学関連分野への強い関心。多様性を尊重する態度，異なる考えに共感する寛容性。他人の意見を尊重しつつも積極的に議論する姿勢。

◆入学者選抜方法

	1. 知識・技能	2. 思考力・判断力・表現力等の能力	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜	大学入学共通テスト 個別学力検査	個別学力検査	調査書
総合型選抜	大学入学共通テスト	小論文 個人面接	志望理由書 個人面接 調査書
国際型選抜	大学入学共通テスト 統一試験 (EJU,SAT,GCE 等)	個人面接	志望理由書 個人面接

学部入試以外のことに関する問い合わせ先

「学部案内」や「編入学試験」,「大学院募集要項」等に関すること

学部・大学院学府名	住所	問い合わせ先
共創学部	〒819-0395 福岡市西区元岡744	学務部 基幹教育・共創学部課 共創教務係 TEL 092-802-5890
文学部／人文科学府	〒819-0395 福岡市西区元岡744	人文社会科学系事務部教務課(文学部担当) TEL 092-802-6372
教育学部／人間環境学府	〒819-0395 福岡市西区元岡744	人文社会科学系事務部教務課(教育学部担当) TEL 092-802-6362
法学部／法学府	〒819-0395 福岡市西区元岡744	人文社会科学系事務部教務課(法学部担当) TEL 092-802-6367
経済学部／経済学府	〒819-0395 福岡市西区元岡744	人文社会科学系事務部教務課(経済学部担当) TEL 092-802-6383
理学部／理学府／数理学府／ システム生命科学府	〒819-0395 福岡市西区元岡744	理学部等教務課教務係・学生支援係 TEL 092-802-4013,4014
医学部医学科／生命科学科	〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1	医系学部等学務課医学学生係(医学科・生命科学科) TEL 092-642-6020
医学部保健学科／医学系学府保健学専攻	〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1	医系学部等学務課保健学学生係 TEL 092-642-6680
歯学部／歯学府	〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1	医系学部等学務課歯学学生係 TEL 092-642-6261
薬学部／薬学府	〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1	医系学部等学務課薬学学生係 TEL 092-642-6541
工学部／工学府／システム情報科学府	〒819-0395 福岡市西区元岡744	工学部等教務課教務係 TEL 092-802-2722
芸術工学部／芸術工学府	〒815-8540 福岡市南区塩原4-9-1	芸術工学部学務課学生係 TEL 092-553-4586
農学部／生物資源環境科学府	〒819-0395 福岡市西区元岡744	農学部等学生課学生係, 留学係 TEL 092-802-4508, 4510
地球社会統合科学府	〒819-0395 福岡市西区元岡744	人文社会学系事務部教務課(地球社会統合科学府担当) TEL 092-802-6372
法務学府(法科大学院)	〒819-0395 福岡市西区元岡744	人文社会科学系事務部教務課専門職員 TEL 092-802-6374
医学系学府	〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1	医系学部等学務課大学院係(医学系学府) TEL 092-642-6025
総合理工学府	〒816-8580 春日市春日公園6-1	筑紫地区教務課教務係 TEL 092-583-7512
統合新領域学府 ユーザー感性学専攻・ライブラリーサイエンス専攻	〒819-0395 福岡市西区元岡744	工学部等教務課統合新領域係 TEL 092-802-6501
統合新領域学府 オートモーティブサイエンス専攻	〒819-0395 福岡市西区元岡744	工学部等教務課統合新領域係 TEL 092-802-3859

入学者選抜概要の請求方法

1. 郵送による方法(大学へ直接請求)

請求方法

住所・氏名・郵便番号を明記した返信用封筒を同封のうえ, 入学者選抜概要と朱書きし, 請求してください。

募集要項等種別	配布予定時期	返信用封筒	請 求 先
入学者選抜概要	7月下旬頃	角形2号390円切手	〒819-0395 福岡市西区元岡744 九州大学学務部入試課 TEL　092-802-2004

3. テレメールによる方法

「入学者選抜概要」は, テレメールでも請求できます。下記へアクセスしてください。

※資料請求番号は, 入学者選抜概要：587170です。

パソコン・スマホ・ケータイ, 電話でアクセスしてください

パソコン・スマホ・ケータイなら
https://telemail.jp
※PC・携帯電話各社共通アドレスです。
バーコード
資料は1～2日後に届きます。(発送開始前の請求を除く)

自動音声応答電話なら
IP電話 050-8601-0101 (24時間受付)
※一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。
※住所・氏名等の登録時は, ゆっくり・はっきりとお話しください。登録された音声が不明瞭な場合は資料をお届けできない場合があります。

■テレメールによる請求についてのお問い合わせ先
テレメールカスタマーセンター　TEL: 050-8601-0102(受付時間9：30～18：00)

2. 大学情報センターの「モバっちょ」による方法

「入学者選抜概要」は, 「モバっちょ」でも請求できます。下記へアクセスしてください。

パソコン, スマートフォン, 携帯電話からアクセスしてください。

資料請求サイト DJC モバっちょ

【URL】https://djc-mb.jp/kyushu-u2/

「モバっちょ」

※お支払い方法は, ①携帯払い, スマホ払い, クレジットカード払い(支払い手数料は別途50円必要)
②コンビニ後払い(支払手数料は別途126円必要)の2種類から選択できます。
※携帯電話, スマートフォンの機種や携帯電話会社との契約状況によっては, 携帯払い, スマホ払いがご利用できない場合があります。その場合はコンビニ後払いを選択してください。

■「モバっちょ」による請求についてのお問い合わせ先
大学情報センター株式会社 モバっちょカスタマーセンター　TEL：050-3540-5005(平日10：00～18：00)

九州大学大学案内2022

発　行／九州大学学務部入試課入試第二係
〒819-0395 福岡市西区元岡744
TEL　092-802-2005
URL https://www.kyushu-u.ac.jp/
発行日／令和3年5月
印　刷／株式会社あすなろ印刷